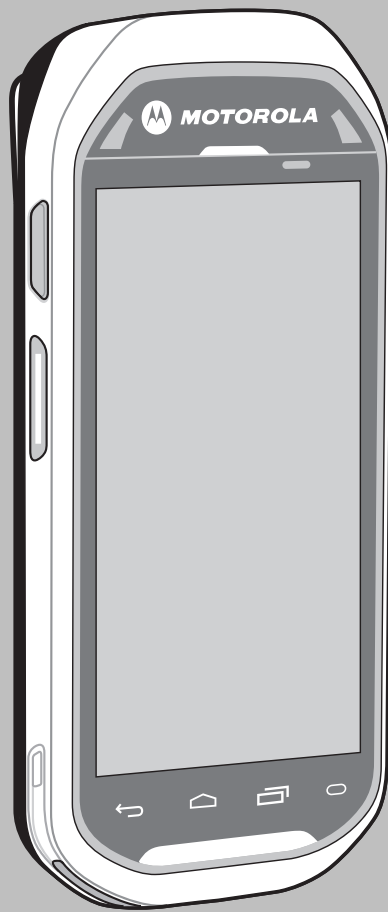
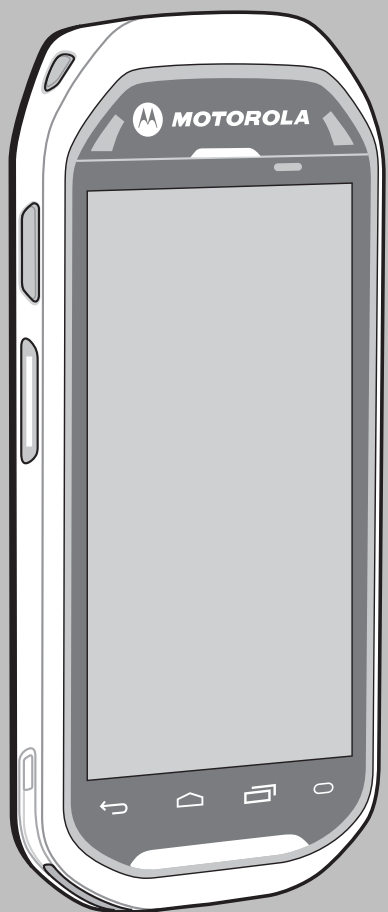


MC40



ユーザーガイド



MC40

ユーザーガイド

72E-166940-01JA

改訂版 A

2012 年 11 月

Motorola の書面による許可なしに、本書の内容をいかなる形式でも、または電気的あるいは機械的な手段により、複製または使用することを禁じます。これには、コピー、記録、または情報の保存および検索システムなど電子的または機械的な手段が含まれます。本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ソフトウェアは、厳密に「現状のまま」提供されます。ファームウェアを含むすべてのソフトウェアは、ライセンスに基づいてユーザーに提供されます。本契約 (ライセンス プログラム) に基づいて提供される各ソフトウェアまたはファームウェアに対して、ユーザーに移譲不可で非排他的なライセンスを付与します。下記の場合を除き、事前に書面による Motorola の同意がなければ、ユーザーがライセンスを譲渡、サブライセンス、または移譲することはできません。著作権法で認められる場合を除き、ライセンス プログラムの一部または全体をコピーする権限はありません。ユーザーは、ライセンス プログラムを何らかの形式で、またはライセンス プログラムの何らかの部分を変更、結合、または他のプログラムへ組み込むこと、ライセンス プログラムからの派生物を作成すること、ライセンス プログラムを Motorola の書面による許可なしにネットワークで使用することを禁じられています。ユーザーは、本契約に基づいて提供されるライセンス プログラムについて、Motorola の著作権に関する記載を保持し、承認を受けて作成する全体または一部のコピーにこれを含めることに同意します。ユーザーは、提供されるライセンス プログラムまたはそのいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル、デコード、またはリバース エンジニアリングを行わないことに同意します。

Motorola は、信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的でソフトウェアまたは製品に変更を加えることができるものとします。

Motorola は、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの使用が直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。

明示的、黙示的、禁反言、または Motorola, Inc. の知的所有権上のいかなる方法によるかを問わず、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Motorola 製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

改訂版履歴

元のガイドに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01 改訂版 A	2012 年 11 月 30 日	初期リリース

目次

このガイドについて

はじめに.....	xi
マニュアル セット	xi
構成.....	xi
ソフトウェア バージョン	xii
章の説明.....	xii
表記規則.....	xii
関連文書.....	xiii
サービスに関する情報.....	xiii

第 1 章：ご使用前に

機能	1-1
パッケージの開梱	1-3
ご使用前に	1-4
バッテリーの取り付け	1-4
バッテリーの充電	1-5
メインバッテリーの充電	1-5
充電温度	1-6
予備バッテリーの充電	1-6
MC40 の電源の入れ方	1-6
バッテリーの交換	1-6
バッテリー管理	1-7
バッテリー使用量の監視	1-8
低バッテリー通知	1-8
バッテリーの最適な使用方法	1-9
画面タイムアウト設定の変更	1-9
バッテリー設定の変更	1-9
無線通信をオフにする方法	1-9
日時の設定	1-10
ディスプレイの設定	1-10
画面の輝度	1-10
画面の回転	1-10
画面のタイムアウト	1-11

サウンド設定	1-11
一般的なサウンド設定	1-11
通知設定	1-11
フィードバック設定	1-11

第 2 章 : MC40 の使用

はじめに	2-1
ホーム画面	2-1
ステータス バー	2-3
ステータス アイコン	2-3
通知アイコン	2-4
通知の管理	2-5
ウィジェット	2-6
ショートカット	2-6
フォルダ	2-7
ホーム画面の壁紙	2-7
ホーム画面での項目の移動	2-7
ホーム画面からの項目の削除	2-8
タッチスクリーンの使用方法	2-8
メニューの操作	2-9
オプションメニュー	2-9
コンテキストメニュー	2-9
画面キーボードの使用方法	2-10
テキストの入力	2-10
数字、記号、および特殊文字の入力	2-10
テキストの編集	2-11
テキストの選択	2-12
キーボード言語の変更	2-12
アプリケーション	2-13
画面のロック解除	2-15
[単一ユーザー] モード	2-16
MultiUser ログイン	2-17
MC40 のリセット	2-18
ソフトリセット	2-18
ハードリセット	2-19
サスペンドモード	2-19
ファイルブラウザの使用	2-20
PTT Express Voice Client	2-22
PTT 音声通知	2-22
PPT 通信を有効にする	2-23
トークグループの選択	2-23
PTT 通信	2-24
グループブロードキャスト (1 対多)	2-24
グループブロードキャストへの応答	2-24
プライベート応答 (1 対 1)	2-25
PTT Express Voice Client 通信を無効にする	2-25

第 3 章：データ収集

はじめに	3-1
イメージャ	3-1
動作モード	3-1
デジタル カメラ	3-2
スキャン操作に関する考慮事項	3-2
イメージャを使用したバーコード データの収集	3-3
内蔵カメラを使用したバーコード データの収集	3-4
磁気ストライプ カードを読み取る	3-5
DataWedge	3-5
DataWedge の有効化	3-6
DataWedge の無効化	3-6
設定	3-6

第 4 章：WLAN

はじめに	4-1
Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続	4-1

第 5 章：Bluetooth

はじめに	5-1
適応型周波数ホッピング	5-1
セキュリティ	5-2
Bluetooth プロファイル	5-2
Bluetooth の電源の状態	5-3
サスペンド	5-3
機内モード	5-3
Bluetooth オン/オフの切り替え	5-3
Bluetooth の有効化	5-3
Bluetooth の無効化	5-4
Bluetooth デバイスを検出する	5-4
Bluetooth の名前の変更	5-5
Bluetooth デバイスへの接続	5-5
Bluetooth デバイスでのプロファイルの選択	5-5
Bluetooth デバイスからの切断	5-6
Bluetooth デバイスのペアリング解除	5-6

第 6 章：写真とビデオ

はじめに	6-1
写真の撮影	6-1
カメラの設定	6-2
ビデオの録画	6-4
ビデオの設定	6-4
写真やビデオの表示	6-5
アルバムの処理	6-6
アルバム コンテンツの表示方法の変更	6-7
アルバムの共有	6-7
アルバム情報の取得	6-8
アルバムの削除	6-8

写真の処理	6-8
写真の表示およびブラウズ	6-8
スライドショー	6-9
写真の回転	6-9
写真のトリミング	6-9
連絡先アイコンとしての写真の使用	6-10
写真を壁紙として設定する	6-10
写真情報の取得	6-11
写真の共有	6-11
写真の削除	6-11
ビデオの処理	6-11
電子メールでのビデオの送信	6-12
ビデオの削除	6-12

第7章: アクセサリ

はじめに	7-1
マイクロ USB ケーブル	7-3
インタフェース	7-3
シングル スロット充電クレードル	7-4
MC40 のバッテリーの充電	7-4
5 スロット ユニバーサル充電専用クレードル	7-5
4 スロット バッテリー充電器	7-6

第8章: メンテナンスとトラブルシューティング

はじめに	8-1
MC40 のメンテナンス	8-1
バッテリーの安全に関するガイドライン	8-1
クリーニング	8-2
使用可能な洗剤の活性成分	8-2
有害成分	8-3
洗浄方法	8-3
洗浄の際の注意事項	8-3
必要な材料	8-3
MC40 の清掃	8-3
筐体	8-3
ディスプレイ	8-3
スキャナ ウィンドウとカメラ ウィンドウ	8-3
コネクタ	8-4
クレードルのコネクタのクリーニング	8-4
クリーニングの頻度	8-5
トラブルシューティング	8-5
MC40	8-5
シングル スロット充電クレードル	8-7
5 スロット ユニバーサル充電専用クレードル	8-7
4 スロット バッテリー充電器	8-8

付録 A: 技術仕様

MC40 技術仕様	A-1
MC40 アクセサリ仕様	A-4
シングル スロット充電クレードル	A-4
5 スロット ユニバーサル充電専用クレードル	A-5
4 スロット予備バッテリー充電器	A-6

用語集**索引**

このガイドについて

はじめに

このガイドでは、MC40 とアクセサリの使用方法について説明します。

- ✓ **注** このガイドで示している画面は、例として示しているものであり、実際の画面と異なることがあります。

マニュアルセット

MC40 のマニュアル セットは、ユーザーの個々のニーズに応じた情報を提供しており、次のマニュアルで構成されています。


- **MC40 クイック スタート ガイド** - MC40 の主な機能の使用方法について説明しています。
- **MC40 ユーザー ガイド** - MC40 の使用方法について説明しています。
- **MC40 Integrator Guide** - MC40 とアクセサリの設定方法について説明しています。

構成

このガイドは、以下のモデルを対象としています。

設定	ラジオ	ディスプレイ	メモリ	データ収集オプション	操作システム
MC40	WLAN: 802.11a/b/g/n WPAN: Bluetooth v2.1 + EDR	4.3" WVGA カラー	1GB RAM/8GB フラッシュ	カメラとイメージャー、またはカメラとイメージャーと MSR	Android ベースの Android オープンソースプロジェクト 2.3

ソフトウェアバージョン

現在のソフトウェアバージョンを確認するには、>  [設定] > [デバイス情報] をタッチします。

- Android バージョン
- ビルド番号

章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- **第 1 章の「ご使用の前に」** - MC40 を初めて使用する際の手順について説明します。
- **第 2 章の「MC40 の使用」** - MC40 の電源の入れ方やリセット方法など、MC40 を使用する際の基本的な手順について説明します。
- **第 3 章の「データ収集」** - 内部カメラや、オプションのスキャン モジュールおよび Bluetooth スキャナを使用してバーコード データを取得する手順について説明します。
- **第 4 章の「WLAN」** - Wi-Fi の設定方法について説明します。
- **第 5 章の「Bluetooth」** - Bluetooth の設定方法について説明します。
- **第 6 章の「写真とビデオ」** - 写真の撮り方や、動画を Gallery (ギャラリー) アプリケーションに取り込む方法について説明します。
- **第 7 章の「アクセサリ」** - 取り付け可能なアクセサリと、アクセサリを MC40 で使用する方法について説明します。
- **第 8 章の「メンテナンスとトラブルシューティング」** - MC40 のお手入れ方法と保管方法、および MC40 の操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。
- **付録 A「技術仕様」** - MC40 の技術仕様について説明します。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- **斜体**は、次の項目の強調に使用します。
 - 本書および関連文書の章およびセクション
 - 画面上のアイコン
- **太字**は、次の項目の強調に使用します。
 - ダイアログ ボックス、ウィンドウ、画面名
 - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
 - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
 - 画面上のボタン名

- 中黒 (•) は、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法のリスト
 - 実行する必要があるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要がある手順 (順を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。

関連文書

- **MC40 クイック スタート ガイド** (p/n 72-166941-xx)
- **MC40 規制ガイド** (p/n 72-166942-xx)
- **MC40 Integrator Guide** (p/n 72E-166943-xx)
- **MSP Client Software Guide** (p/n 72E-128805-xx)

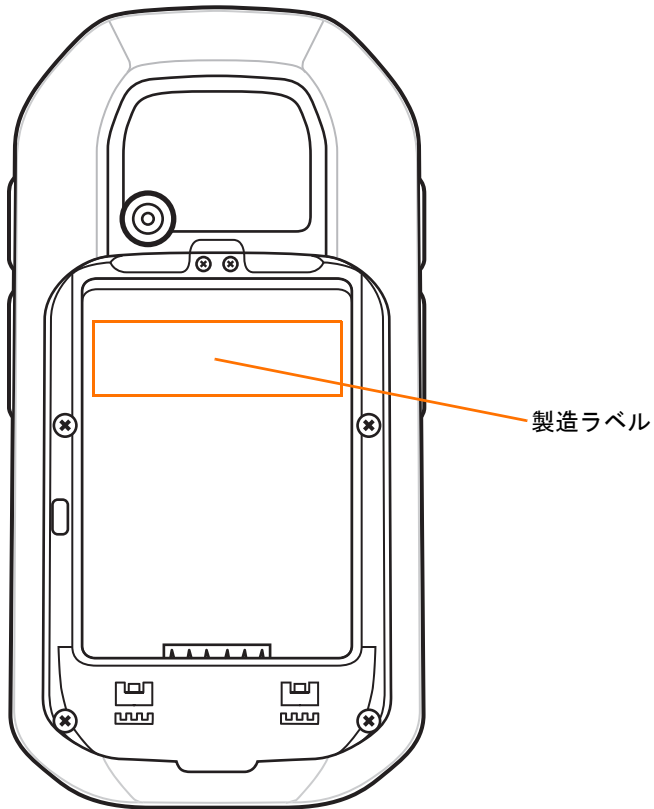
本書およびすべてのガイドの最新バージョンは、<http://supportcentral.motorola.com> から入手可能です。

サービスに関する情報

本機器に問題が発生した場合は、地域担当の Motorola Solutions Global Customer Support Center (Motorola Solutions グローバル カスタマ サポート センター) にお問い合わせください。お問い合わせ先は、<http://www.motorolasolutions.com/support> に記載されています。

Motorola Solutions Global Customer Support Center (Motorola Solutions グローバル カスタマ サポート センター) へのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号 (製造ラベルに記載)
- モデル番号または製品名 (製造ラベルに記載)
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号



Motorola は、お客様のお問い合わせに対して、サポート合意書に指定された期限までに、電子メール、または電話にて回答を行います。

Motorola Solutions Global Customer Support Center (Motorola Solutions グローバル カスタマ サポート センター) が問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。Motorola は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切に移動すると、保証が無効になる場合があります。

ご使用の製品を Motorola ビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

第1章 ご使用前に

機能

ここでは、MC40 の特徴と、最初に使用する場合のセットアップ方法を説明します。

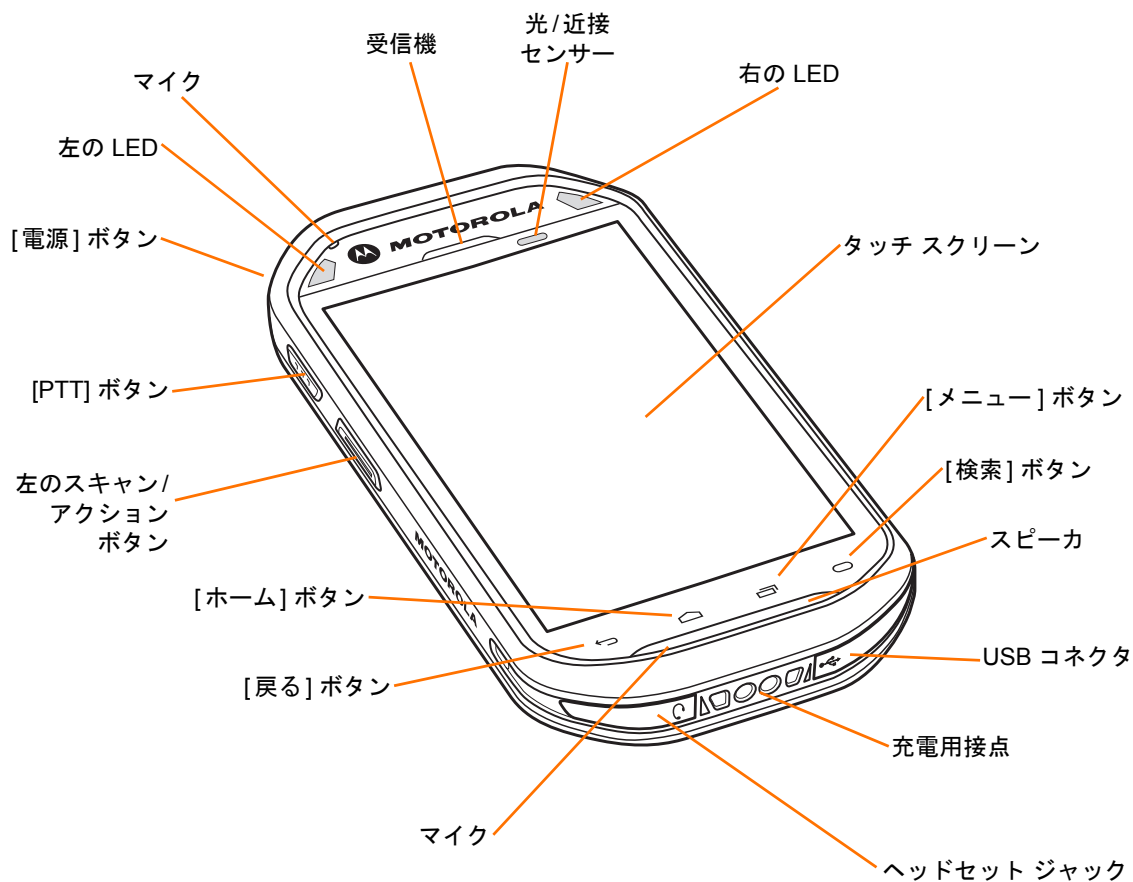


図 1-1 MC40 正面図

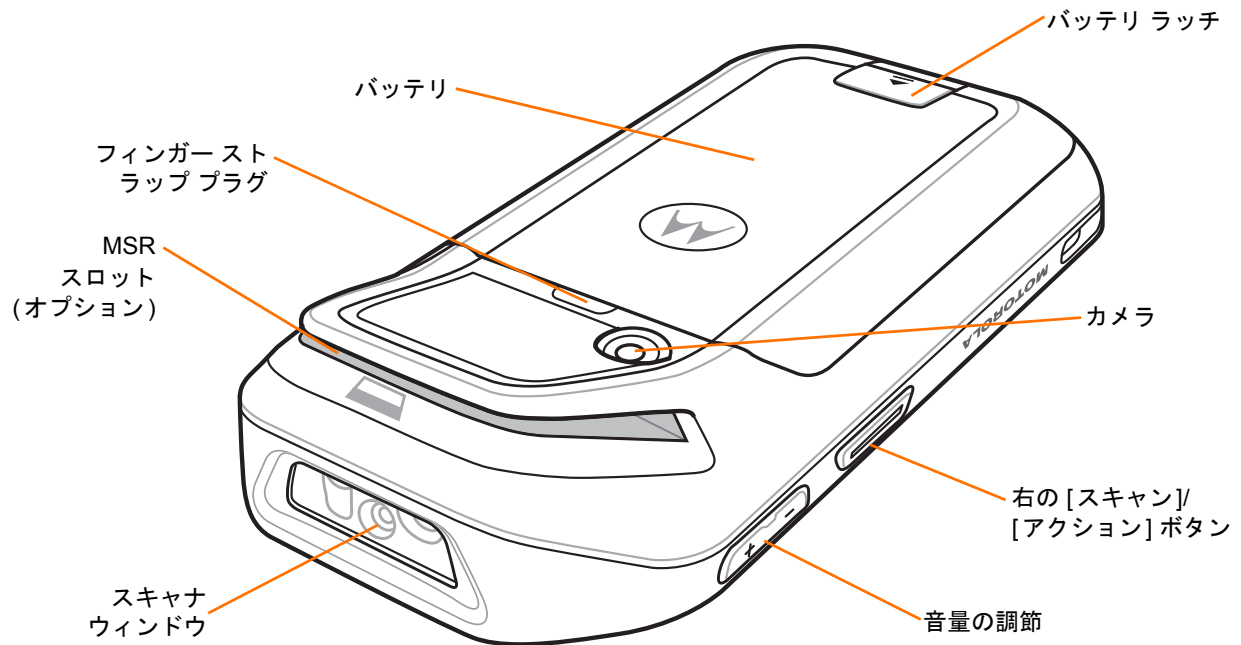


図 1-2 MC40 背面図

表 1-1 機能





各部の名称	機能
左の LED	読み取り機能を示します。スキャンの実行中は赤色に点灯します。読み取りが正常に完了したら、緑色に点灯します。
右の LED	MC40 が充電器に設置されているときに、バッテリーの充電状態を示します。読み取り機能を示します。スキャンの実行中は赤色に点灯します。読み取りが正常に完了したら、緑色に点灯します。
マイク	音声の録音と通信に使用します。
光/近接センサー	周辺光を判断してディスプレイのバックライトの輝度を制御し、ハンドセットモードのときにはディスプレイをオフにします。
タッチ スクリーン	MC40 の操作に必要なすべての情報が表示されます。
[戻る] ボタン 	前の画面を表示します。 画面キーボードが開いている場合は、キーボードを閉じます。
[ホーム] ボタン 	ワンタッチでホーム画面を表示します。 短期間タッチし続けると、最近使用したアプリケーションが表示されます。
[メニュー] ボタン 	現在の画面またはアプリケーションに影響を及ぼす項目のメニューが開きます。
[検索] ボタン 	[検索] ウィンドウを開きます。
右の [スキャン]/ [アクション] ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合のスキャンを示します (デフォルト)。ボタン リマップ プログラムを使用してプログラム可能です。詳細は、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

表 1-1 機能 (続き)

各部の名称	機能
カメラ	写真やビデオの撮影、バーコードデータの収集を行います。
MSR スロット (一部のモデルで利用可能)	クレジット取引またはデビット取引の際に、磁気ストライプカードのスイープに使用します。
[電源] ボタン	<p>ボタンを押して、その状態を維持すると、MC40 の電源がオンになります。ボタンを押すと、画面がオンまたはオフになります。ボタンを押して、その状態を維持し、次のオプションから 1 つを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [サイレントモード]- デバイスはバイブモードに設定されます。アラーム以外のすべてのサウンドは無効に設定されます。 • [機内モード]- すべての無線接続が無効になります。 • [バッテリー交換]- バッテリーの交換時にデバイスをシャットダウンします。 • [リセット]- ソフトウェアが応答を停止した場合に、MC40 を再起動します。 • [電源オフ]- MC40 の電源をオフにします。
音量の調節	オーディオの音量を上げたり下げたりします。ボタン リマッププログラムを使用してプログラム可能です。詳細は、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。
[PTT] ボタン	PTT Express がアクティブな場合に、ブロードキャスト PTT 通話を示します。ボタン リマッププログラムを使用してプログラム可能です。詳細は、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。
左のスキャン/アクション ボタン	スキャンアプリケーションが有効な場合のスキャンを示します (デフォルト)。PTT Express がアクティブな場合に、PTT 通信で使用します。ボタン リマッププログラムを使用してプログラム可能です。詳細は、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。
スピーカ	ビデオおよび音楽を再生するためのオーディオ出力を提供します。
ヘッドセットジャック	モノ ヘッドセット (3 ワイヤ、2.5mm プラグ) に接続します。
USB コネクタ	クレードルおよびケーブルからデバイスに電力を供給し、USB クライアント通信およびホスト通信を行えるようにします。

パッケージの開梱

MC40 を覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。

次の同梱品がパッケージに入っていることを確認します。

- MC40
- リチウム イオン バッテリ
- クイック スタート ガイド
- 規制ガイド

破損している機器がないかどうかを確認してください。不足または破損している機器がある場合は、直ちに Motorola Solutions グローバルカスタマ サポート センター にお問い合わせください。連絡先については、[xiii ページ](#)を参照してください。

ご使用前に

MC40 を初めて使用する際には、次のことを行います。

1. バッテリーの取り付け
2. MC40 の充電
3. MC40 の電源をオンにする

バッテリーの取り付け

バッテリーを取り付けるには、次の手順に従います。

1. バッテリーがバッテリー収納部内に収まるよう調整します。
2. バッテリーが所定の位置にカチッとハマるまで押し下げます。
3. バッテリー ラッチを押し下げます。バッテリーが充電されている場合は、MC40 の電源が自動的にオンになります。

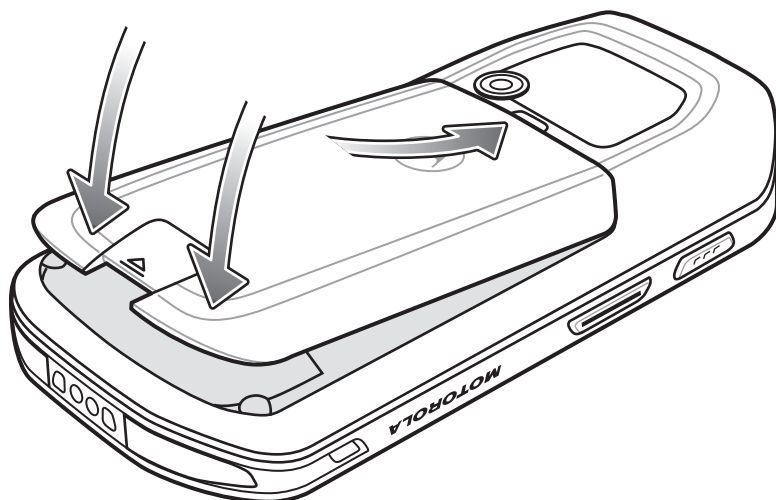


図 1-3 バッテリーの取り付け

バッテリーの充電



注意 8-1 ページの「バッテリーの安全に関するガイドライン」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

メインバッテリーの充電

MC40 を初めて使用する場合は、右のバッテリー充電発光ダイオード (LED) が緑色に点灯するまで、メインバッテリーを充電します (充電状態のインジケータについては、1-5 ページの表 1-2 を参照してください)。MC40 を充電するには、ケーブルまたはクレードルを使って適切な電源に接続してください。MC40 で使用可能なアクセサリの詳細については、第 7 章の「アクセサリ」を参照してください。

MC40 にはメモリ バックアップバッテリーが装備されており、このバッテリーはフル充電されたメインバッテリーから自動的に充電されます。MC40 を初めて使用する場合は、バックアップバッテリーがフル充電されるまで約 36 時間かかります。また、メインバッテリーを数時間取り外して、バックアップバッテリーが放電した場合も、同じ時間がかかります。MC40 のメインバッテリーを取り外したとき、[バッテリー交換] 機能が使用されれば、少なくとも 15 分間 (室温の場合) は、バックアップバッテリーによってランダムアクセスメモリ (RAM) データがメモリ内に維持されます。MC40 のバッテリー残量が非常に少なくなった場合、メモリ内の RAM データは、メインバッテリーとバックアップバッテリーの両方によって少なくとも 48 時間維持されます。

ケーブルおよびクレードルの取り扱い方法および充電手順については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

- マイクロ USB ケーブル
- シングル スロット充電クレードル
- 5 スロット ユニバーサル充電専用クレードル。

メインバッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. 充電アクセサリを適切な電源に接続します。詳細については、第 7 章の「アクセサリ」を参照してください。
2. MC40 をクレードルにセットするか、ケーブルを接続します。MC40 が充電を開始します。充電中は、右のバッテリー充電 LED が黄色に点滅し、フル充電されると緑色に点灯します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、表 1-2 を参照してください。

2680mAh バatteryは、約 4 時間で充電が完了します。

表 1-2 右の LED ステータス

状態	意味
消灯	MC40 が充電されない。 MC40 がクレードルに正しく挿入されていません。 MC40 が電源に接続されていません。 充電器またはクレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 (2 秒ごとに 3 回点滅)	MC40 が充電中です。
緑色の点灯	充電が完了しました。

表 1-2 右の LED ステータス (続き)

状態	意味
黄色で速く点滅 (1 秒間に 3 回点滅)	充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎる、または高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎる (通常は、8 時間以上)。
[電源] ボタンを押したときに、黄色で 1 回点滅	バッテリー残量が重大な状態です。バッテリー残量が少なすぎて、デバイスを起動できません。
[電源] ボタンを押したときに、黄色で速く点滅	バッテリーが過熱状態になっています。デバイスがシャットダウンされます。バッテリーは、正常な操作を行える温度に戻るまで充電されません。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC40 によって精密に制御されています。温度制御を行うため、MC40 やアクセサリは、バッテリーの充電状態を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC40 やアクセサリの LED にエラーが表示されます。表 1-2 を参照してください。

予備バッテリーの充電

アクセサリを使用して予備バッテリーを充電する方法については、第 7 章の「アクセサリ」を参照してください。

MC40 の電源の入れ方

バッテリーが装着されていても MC40 の電源がオンにならない場合は、左右の LED が 1 回点滅するまで、[電源] ボタンを押します。MC40 がフラッシュ ファイル システムを開始するときに、起動画面が 1 分程度表示されます。これらのウィンドウは、リセット時也表示されます。

バッテリーの交換

- ✓ **注** バッテリー交換モードの手順に従っていることを確認してください。従っていない場合、バックアップバッテリーが短期間で消耗されます。

バッテリーを交換するには、次の手順に従います。

1. [電源] ボタンを、[デバイスのオプション] メニューが表示されるまで押します。
2. [バッテリー交換] をタッチします。左右の LED が赤く点灯します。
3. LED が消灯するまで待ちます。
4. バッテリー ラッチを持ち上げます。

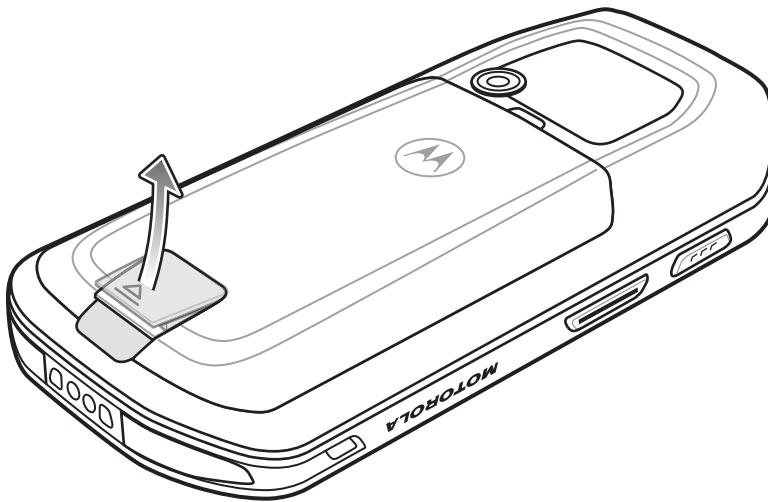


図 1-4 バッテリー ラッチを持ち上げる

5. バッテリーをバッテリー コンパートメントから取り出します。

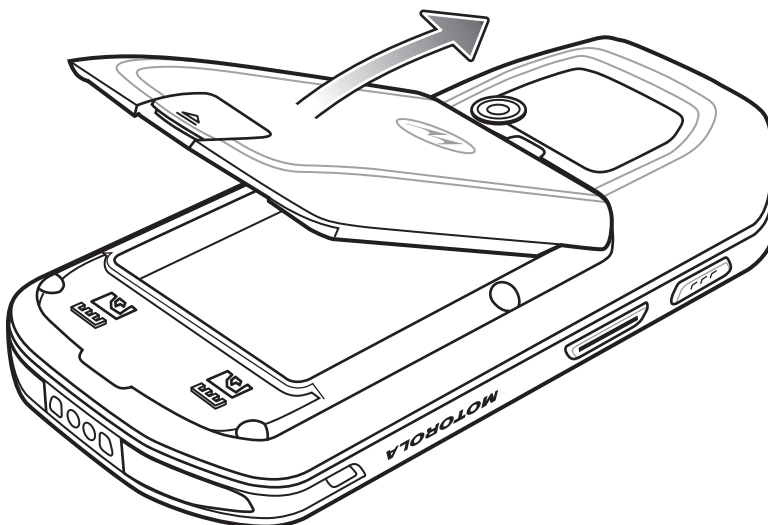


図 1-5 バッテリーを取り出す

6. 交換したバッテリーがバッテリー収納部に収まるよう調整します。
7. バッテリーが所定の位置にカチッとハマるまで押し下げます。
8. バッテリー ラッチを押し下げます。バッテリーが充電されている場合は、MC40 の電源が自動的にオンになります。

バッテリー管理

- ✓ **注** バッテリー充電レベルを確認する前に、すべての AC 電源 (クレードルまたはケーブル) から MC40 を取り外します。

メインバッテリーの充電状態を確認するには、 > [設定] > [デバイス情報] > [ステータス] をタッチします。

[バッテリー状態] は、バッテリーの放電状況を示し、[バッテリー レベル] にはバッテリー充電量 (フル充電と比較した割合) がリストされます。

バッテリー使用量の監視

[バッテリーの使用] 画面には、どのアプリケーションがバッテリー電力を最も消費しているかがリストされます。またこの画面を使用して、ダウンロードしたアプリケーションの中で電力を消費しすぎているものをオフにすることもできます。

 > [設定] > [デバイス情報] > [バッテリーの使用] をタッチします。

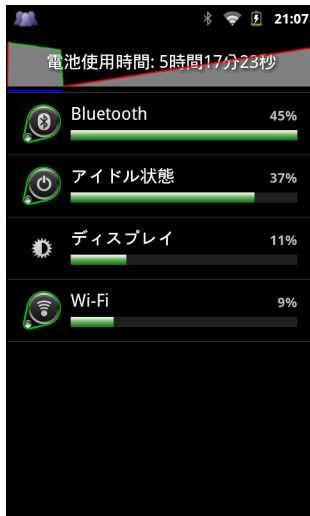


図 1-6 [バッテリーの使用] 画面

[バッテリーの使用] 画面には、バッテリーを使用しているアプリケーションがリストされます。画面上部の放電状況グラフには、最後に充電されたときからのバッテリーの放電率と (充電器に接続された短期間は、図の下部に薄い緑色の線で示されます)、バッテリー電源で稼動している時間が表示されます。

[バッテリーの使用] 画面でアプリケーションにタッチすると、その電力消費についての詳細が表示されます。アプリケーションによって、表示される情報は異なります。アプリケーションの中には、電力使用を調整するための設定画面が開くボタンが含まれているものもあります。

低バッテリー通知

バッテリー充電残量が 15% 未満になると、MC40 を電源に接続するように指示する通知が MC40 に表示されます。

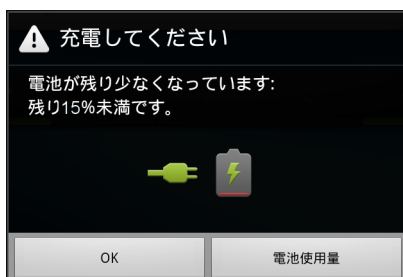


図 1-7 低バッテリー通知

ユーザーはバッテリーを交換するか、次の充電アクセサリのいずれかを使用して MC40 を充電する必要があります。

バッテリー充電残量が 10% 未満になると、MC40 はデータを保存するために重大なサスペンドモードに入ります。画面はオフになります。[電源] ボタンを押すと、右の LED が黄色に点滅します。

データを保持するために、ユーザーはバッテリーを交換するか、次の充電アクセサリのいずれかを使用して MC40 を充電しなければなりません。



バッテリーの最適な使用方法

バッテリーを節約するためのヒントを以下に示します。

- MC40 を使用しないときは、常に AC 電源に接続しておきます。
- アイドル状態で一定時間経過したら画面がオフになるように画面を設定します。
- 画面の明るさを抑えます。
- 無線機能を使用していないときは、すべての無線機能をオフにします。
- 電子メール、カレンダー、連絡先、および他のアプリケーションの自動同期機能をオフにします。
- **[電源コントロール]** ウィジェットを使用して、無線、画面の輝度、および同期機能のステータスを確認して制御します。
- 音楽やビデオ アプリケーションなどのアプリケーションの使用を最小限に抑えて、MC40 がサスペンド状態にならないようにします。



画面タイムアウト設定の変更

アイドル状態で一定時間経過したら電源がオフになるように MC40 を設定するには、次の手順に従います。

1.  > **[設定]** > **[ディスプレイ]** > **[画面タイムアウト]** をタッチします。
2. **[画面タイムアウト]** ウィンドウから値を選択します。オプション: **[15 秒]**、**[30 秒]**、**[1 分]**、**[2 分]**、**[10 分]**、**[30 分]**、または **[なし]**。
3.  をタッチします。




バッテリー設定の変更

輝度の設定を変更してバッテリー電力を節約するには、次の手順に従います。

1.  > **[設定]** > **[ディスプレイ]** > **[輝度]** をタッチします。
2. **[輝度自動調整]** チェックボックスがオンになっている場合、チェックボックスをタッチして無効にします。
3. スライダーを左に移動して、輝度を下げます。
4. **[OK]** をタッチします。
5.  をタッチします。



無線通信をオフにする方法

すべての無線をオフにするには、次の手順に従います。

1.  > **[設定]** > **[無線/ネットワーク]** をタッチします。
2. **[機内モード]** チェックボックスをタッチして、すべての無線を無効にします。 アイコンがステータスバーに表示されます。
3.  をタッチします。

日時の設定

日時を設定するには、次の手順に従います。

1.  > [設定] > [日付/時刻] をタッチします。
日付と時刻は、MC40 が無線ネットワークに接続されると、NTP サーバーを使用して自動的に同期されます。ユーザーはタイムゾーンを設定するだけです。
2. [タイムゾーンの選択] をタッチします。
3. 現在の場所のタイムゾーンをタッチします。
4.  をタッチします。

NTP サーバー接続設定の詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

ディスプレイの設定

画面の輝度

画面の輝度を設定するには、次の手順に従います。



1.  > [設定] > [ディスプレイ] > [輝度] をタッチします。[輝度] ダイアログボックスが表示されます。





図 1-8 [輝度] ダイアログボックス

2. [輝度自動調整] チェックボックスをオンにすると、MC40 は内蔵光センサーを使用して、自動的に輝度を調整するように設定されます。
輝度を手動で設定するには、このチェックボックスをオフにします。スライダを使用して、輝度レベルを設定します。
3. [OK] >  をタッチします。



画面の回転

画面の回転を設定するには、次の手順に従います。


1.  > [設定] > [ディスプレイ] をタッチします。[ディスプレイの設定] 画面が表示されます。
2. [画面自動回転] をオンにすると、MC40 の回転に合わせて MC40 が自動的に向きを切り替えるように設定されます。MC40 を左右に 90 度回転させます。
3.  をタッチします。

画面のタイムアウト

画面のタイムアウトを設定するには、次の手順に従います。

1.  > [設定] > [ディスプレイ] > [画面タイムアウト] をタッチします。[画面タイムアウト] メニューが表示されます。
2. タイムアウト値を 1 つ選択します。オプション: [15 秒]、[30 秒]、[1 分]、[2 分]、[10 分]、または [30 分]。
3.  をタッチします。

サウンド設定

[サウンド設定] を使用して、メディアおよびアラームの音量を設定します。 > [設定] > [サウンド] をタッチします。

一般的なサウンド設定

- [サイレントモード] - オンにすると、音楽、ビデオ、およびアラームのオーディオを除くすべてのサウンドがサイレンスになります。注意: メディアとアラームをサイレンスに設定するには、特定のアプリケーションの設定に移動します。
- [バイブ] - 通知を受け取ったときに、MC40 が振動する条件を設定します。オプション: [常時]、[なし]、[サイレントモードの場合のみ]、または [サイレントモードではない場合のみ]。
- [音量] - メディアやアラームの音量をコントロールします。スライダを使用して、音量レベルを設定します。

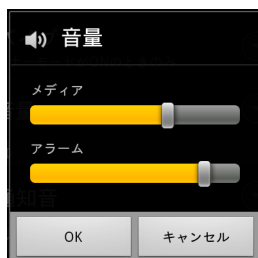


図 1-9 [音量] ダイアログ ボックス

通知設定

- [通知呼び出しトーン] - 通知を受信したときに鳴る、呼び出しトーンを選択するためのダイアログ ボックスが開きます。

フィードバック設定

- [可聴選択] - オンにすると、画面上で選択を行ったときに音が鳴ります。
- [画面ロック音] - オンにすると、画面をロックまたはロック解除したときに音が鳴ります。
- [触覚フィードバック] - オンにすると、ソフトキーをタッチしたときや、特定の画面对話時に MC40 が振動します。

第2章 MC40 の使用

はじめに

ここでは、MC40 の画面、ステータス アイコン、通知アイコン、およびコントロールについて紹介し、MC40 の基本的な使用方法を説明します。

ホーム画面

ホーム画面は、MC40 をオンにすると表示されます。設定によって、ホーム画面に表示される内容は異なります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。


サスペンドまたは画面タイムアウトの後、ホーム画面にはロック スライダーが表示されます。 を左にスライドして、画面のロックを解除します。画面のロックの詳細については、[2-15 ページの「画面のロック解除」](#)を参照してください。



図 2-1 ホーム画面

ホーム画面には、次の機能があります。

- **ステータスバー** - 時間、ステータスアイコン (右側)、および通知アイコン (左側) が表示されます。詳細については、[2-3 ページの「ステータスアイコン」](#) および [2-5 ページの「通知の管理」](#) を参照してください。
- **[起動プログラム] アイコン** - アプリケーション ウィンドウを開きます。[2-13 ページの「アプリケーション」](#) を参照してください。
- **[ブラウザ] アイコン** - **[ブラウザ]** アプリケーションを開きます。
- **ウィジェット** - ホーム画面で実行するスタンドアロン型のアプリケーションを起動します。
- **[ショートカット] アイコン** - MC40 にインストールされているアプリケーションを開きます。

ホーム画面には、ウィジェットとショートカットを配置するための 4 つの追加画面があります。画面を左右にスワイプすると、追加画面が表示されます。左下と右隅のドットは、どの画面が表示されているかを示しています。


ドットをタッチしてその状態を維持するか、**[起動プログラム] アイコン** をタッチしてその状態を維持すると、 すべての画面のサムネイルが表示されます。5 つの画面を表す 5 つのサムネイルが表示されます。サムネイルのいずれかをタッチすると、該当する画面が表示されます。



図 2-2 ホーム画面のサムネイル

ステータスバー

ステータスバーには、時間、通知アイコン (左側)、およびステータスアイコン (右側) が表示されます。



通知アイコン

ステータスアイコン

図 2-3 通知アイコンおよびステータスアイコン

ステータスバーに表示可能な数より多くの通知がある場合は、他にも通知があることを示す **+** が表示されます。[通知] パネルを開き、すべての通知とステータスを表示します。








ステータスアイコン

表 2-1 は、表示される可能性のあるステータスアイコンを示しています。

表 2-1 ステータスアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	Bluetooth がオンになっていることを示します。		MC40 が Bluetooth デバイスに接続されていることを示します。
	アラームが有効であることを示します。		メディアとアラーム以外のすべてのサウンドがサイレンスに設定され、パイプモードが有効になっていることを示します。
	着信音がサイレンスに設定されていることを示します。		Wi-Fi ネットワークに接続されていることを示します。

表 2-1 ステータス アイコン (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	バッテリーの充電が非常に少ないことを示します。		バッテリーの充電が少ないことを示します。
	バッテリーの一部が充電された状態であることを示します。		バッテリーが完全に充電された状態であることを示します。
	バッテリーが充電中であることを示します。		MC40 がバッテリー容量のレベルを計算中であることを示します。
	未知の充電エラーであることを示します。		充電するには、バッテリーの温度が低すぎることを示します。
	充電するには、バッテリーの温度が高すぎることを示します。		機内モードがアクティブであることを示します。すべての無線がオフになります。

通知アイコン

表 2-2 は、表示される可能性のある通知アイコンを示しています。これらの通知への応答の詳細については、2-5 ページの「通知の管理」を参照してください。これらのアイコン以外に、インストールされたアプリケーションによっては、独自の通知アイコンが表示される場合があります。

表 2-2 通知アイコン











アイコン	説明	アイコン	説明
	表示可能な通知が他にもあることを示します。		データを同期していることを示します。
	間近に迫ったイベントを示します。		オープン Wi-Fi ネットワークを使用できることを示します。
	音楽が再生されていることを示します。		サインインまたは同期に関する問題が発生したことを示します。
	MC40 がデータをアップロードしていることを示します。		オンデバイスストレージがほぼ満杯であることを示します。
	動画表示の場合は MC40 がデータのダウンロード中であることを示し、静止画表示の場合はダウンロードが完了したことを示します。		MC40 が USB ケーブルを使用して接続されていることを示します。

表 2-2 通知アイコン (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	MC40 が仮想プライベート ネットワーク (VPN) を介して接続または切断されていることを示します。		オンデバイス ストレージを準備中です。
	MC40 で USB デバッグが有効になっていることを示します。		MultiUser 機能が有効になっていることを示します。
	新しいユーザーがログインしていることを示します。		PTT Express がアクティブです。

通知の管理

通知アイコンは、新しいメッセージの到着、カレンダー イベント、およびアラームに加えて、進行中のイベントも報告します。通知が行われると、簡単な説明とともにアイコンがステータス バーに表示されます。[2-4 ページの表 2-2](#) を参照してください。すべての通知のリストを表示するには、**[通知]** パネルを開きます。

[通知] パネルを開くには、次の手順に従います。


- 画面の上部からステータス バーを下にドラッグします。
あるいは
- ホーム画面で、 > **[通知]** をタッチします。



図 2-4 [通知] パネル

通知に応答するには、[通知] パネルを開いて、通知をタッチします。[通知] パネルが閉じます。この後の操作は、通知によって異なります。

すべての通知をクリアするには、[通知] パネルを開き、**[クリア]** をタッチします。イベントベースのすべての通知が削除されます。進行中の通知はそのままリストに残ります。

[通知] パネルを閉じるには、[通知] パネルの下部を画面の上部までドラッグするか、 をタッチします。

ウィジェット

ウィジェットとはホーム画面に置かれた内蔵型のアプリケーションであり、これを使用して、頻繁に使用する機能にアクセスできます。

ホーム画面にウィジェットを追加するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面に移動します。
2. **[ホーム画面に追加]**メニューが表示されるまで、画面をタッチしてその状態を維持します。
3. ウィジェットをタッチします。**[ウィジェットの選択]**メニューが表示されます。**表 2-3**は、利用可能なデフォルトのウィジェットを示しています。
4. ホーム画面に追加するウィジェットをタッチします。









ホーム画面からウィジェットを削除するには、ウィジェットアイコンが拡大表示され、MC40 が振動するまでアイコンにタッチしてその状態を維持します。アイコンを  までドラッグして放します。


表 2-3 デフォルトのウィジェット

アイコン	説明	アイコン	説明
	[アナログ時計] - 画面にアナログ時計を表示します。		[カレンダー] - 画面にカレンダーを表示します。
	[ホーム画面のヒント] - ホーム画面のヒント情報を表示します。		[音楽] - 画面に音楽プレーヤーコントロールを表示します。
	[ピクチャー フレーム] - 画面に [ギャラリー] の写真を表示します。		[電源コントロール] - Wi-Fi、Bluetooth、およびグローバル ポジショニング システム (GPS) の接続をコントロールし、同期と明るさの設定を行うための [電源コントロール] ウィジェットを表示します。
	[検索] - Web、アプリケーション、および連絡先を検索するための [検索] ウィジェットを表示します。		

ショートカット

ショートカットを使用すると、アプリケーションに簡単にアクセスできます。ショートカットを作成するには、次の手順に従います。


1. ホーム画面に移動します。
2. **[ホーム画面に追加]**メニューが表示されるまで、画面をタッチしてその状態を維持します。
3. **[ショートカット]**をタッチします。**[ショートカットの選択]**メニューが表示されます。
4. メニューから 1 つ選んでタッチします。メニュー項目は、MC40 にインストールされているアプリケーションによって異なります。
5. 画面の指示に従います。

ホーム画面からショートカットを削除するには、ショートカットアイコンが拡大表示され、MC40 が振動するまでアイコンにタッチしてその状態を維持します。アイコンを  までドラッグして放します。

フォルダ

[フォルダ] を使用して、項目を整理します。フォルダを追加するには、次の手順に従います。


1. ホーム画面に移動します。
2. [ホーム画面に追加] メニューが表示されるまで、画面をタッチしてその状態を維持します。
3. [フォルダ] をタッチします。[フォルダの選択] メニューが表示されます。
4. 次のオプションのいずれかをタッチします。
 - [新しいフォルダ] - 新しい空のフォルダを作成します。
 - [すべての連絡先] - すべての連絡先が含まれたフォルダを作成します。
 - [Bluetooth から受信] - Bluetooth から受信した項目のリストが含まれたフォルダを作成します。
 - [電話番号を含む連絡先] - 保存されている電話番号を含む連絡先が含まれたフォルダを作成します。
 - [星付きの連絡先] - お気に入りの連絡先が含まれたフォルダを作成します。

ホーム画面からフォルダを削除するには、フォルダアイコンが拡大表示され、MC40 が振動するまでアイコンにタッチしてその状態を維持します。アイコンを  までドラッグして放します。

ホーム画面の壁紙

✓ **注** [ライブ壁紙] を使用すると、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。

ホーム画面の壁紙を変更するには、次の手順に従います。

1.  > [壁紙] をタッチします。
あるいは
[ホーム画面に追加] メニューが表示されるまで、ホーム画面をタッチしてその状態を維持した後、[壁紙] をタッチします。
2. [ギャラリー]、[ライブ壁紙]、または [壁紙] をタッチします。
 - [ギャラリー] - MC40 に保存されている画像を使用する場合に選択します。
 - [ライブ壁紙] - 動画表示の壁紙画像を使用する場合に選択します。
 - [壁紙] - 壁紙画像を使用する場合に選択します。
3. [保存] または [壁紙の設定] をタッチします。

ホーム画面での項目の移動

ホーム画面にある項目を移動するには、次の手順に従います。


1. 拡大表示されるまで項目をタッチして、その状態を維持します。
2. 項目を新しい場所にドラッグします。

画面の端で一時停止し、隣接するホーム画面まで項目をドラッグします。

3. 指を放して、項目を配置します。

ホーム画面からの項目の削除

ホーム画面から項目を削除するには、次の手順に従います。

1. 拡大表示されるまで項目をタッチして、その状態を維持します。
2. 項目を  までドラッグします。
3. アイコンが赤色に変わったら、指を放します。ホーム画面から項目が削除されます。

タッチスクリーンの使用方法

高感度のマルチタッチスクリーンを使用して、MC40 を操作します。

- **タッチ** - タッチして次を行います。
 - 画面上の項目を選択します。
 - 画面キーボードを使用して、文字や記号を入力します。
 - 画面ボタンを押します。
- **タッチしてその状態を維持** - 次の項目をタッチして維持し、以下を行います。
 - ホーム画面の項目をタッチして、それを新しい場所かゴミ箱に移動します。
 - [起動プログラム] アイコン、またはホーム画面のドットをタッチして、ホーム画面のサムネイルを開きます。
 - [起動プログラム] の項目をタッチして、ホーム画面にショートカットを作成します。
 - ホーム画面をタッチして、ホーム画面をカスタマイズするためのメニューを開きます。
 - ホーム画面の何も表示されていないエリアをタッチし続けると、メニューが表示されます。
- **ドラッグ** - 項目をタッチしてしばらくの間その状態を維持した後、画面上の新しい位置まで指を移動します。
- **スワイプ** - 画面上で上下または左右に指を移動して、次を行います。
 - 画面のロックを解除します
 - 別のホーム画面を表示します
 - [起動プログラム] ウィンドウに追加のアプリケーション アイコンを表示します
 - アプリケーションの画面についての詳細情報を表示します
- **ダブルタップ** - Web ページ、マップ、または他の画面を 2 回タップして、ズームインやズームアウトを行います。
- **ピンチ** - 一部のアプリケーションでは、画面上に指を 2 本置いて指の間隔を狭めたり (ズームアウト)、離したり (ズームイン) して、ズームインとズームアウトを行えます。

メニューの操作

メニューには、オプションメニューとコンテキストメニューの2種類があります。

オプションメニュー


オプションメニューには、現在の画面またはアプリケーションの動作に適用される項目が含まれています。オプションメニューを開くには  をタッチします。画面によっては、メニューに表示できる数より多くの項目が含まれている場合があります。[詳細] をタッチすると、追加項目のメニューが表示されます。



図 2-5 オプションメニューの例


コンテキストメニュー

コンテキストメニューには、画面上の特定の項目に適用される機能が含まれています。コンテキストメニューを開くには、画面上の項目をタッチして、その状態を維持します。



図 2-6 コンテキストメニューの例

画面キーボードの使用方法

テキストフィールドにテキストを入力するには、画面キーボードを使用します。キーボード設定を行うには、 をタッチし、[Android キーボード設定] を選択します。詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

テキストの入力

テキストを入力するには、次の手順に従います。

1. テキストフィールドをタッチします。画面キーボードが表示されます。





図 2-7 画面キーボード

2. キーボード上のキーをタッチして、テキストを入力します。

入力したテキストがテキストフィールドと候補ストリップに表示されます。キーボードに入力した文字で予測される単語候補がある場合は、テキストフィールドでその単語に下線が引かれ、候補がオレンジ色で表示されます。ストリップの左側に表示される太字の候補が、キーボードが判断した最適な候補です。ストリップを左側にドラッグすると、さらに候補が表示されます。

3. スペースまたは句読点を押すと、太字の候補単語が入力されます。

4.  をタッチすると、カーソルの左側にある文字が消去されます。


5. キーボードを閉じるには、 をタッチします。

辞書に追加された単語を表示、編集、または削除します。詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

数字、記号、および特殊文字の入力

数字および記号を入力するには、次の手順に従います。

- メニューが表示されるまで最上部の行にあるキーの1つをタッチして、数字を選択します。キーに代替文字が設定されている場合は、文字の下に省略文字 (...) が表示されます。

- **Shift** キーを 1 本の指でタッチしてその状態を維持しながら、1 つまたは複数の大文字または記号をタッチして入力し、両方の指を放して小文字のキーボードに戻ります。
-  にタッチすると、数字と記号のキーボードに切り替わります。
- 数字と記号のキーボードで **ALT** キーにタッチすると、別の記号が表示されます。

特殊文字を入力するには、数字または記号のキーをタッチして、その他の記号のメニューが開くまでその状態を維持します。

- キーボードの上に、より大きいバージョンのキーが短時間表示されます。
- キーに代替文字が設定されている場合は、文字の下に省略文字 (...) が表示されます。

テキストの編集

入力したテキストを編集して、メニュー コマンドを使用し、アプリケーション内または複数のアプリケーション間でテキストの切り取り、コピー、および貼り付けを行います。アプリケーションの中には、表示しているテキストの一部またはすべての編集をサポートしていないものや、テキストの選択に独自の方法を提供しているものもあります。

テキストを編集するには、次の手順に従います。

1. テキストをタッチします。テキスト フィールドにテキストが入力された状態で、画面キーボードが表示されます。
2. 編集するテキストをタッチします。オレンジ色のタブ付きのカーソルが表示されます。

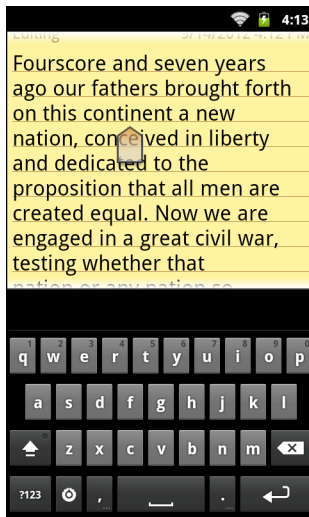



図 2-8 カーソル

3. テキストを編集する場所までオレンジ色のタブをドラッグします。オレンジ色のタブはすぐに非表示になります。タブを再表示するには、テキストをもう一度タッチします。
4. 新しいテキストを入力するか、既存のテキストを削除します。
5. 入力が完了したら、 を押してキーボードを閉じます。

テキストの選択

テキストを選択して、切り取り、コピー、削除、または置換を行うには、次の手順に従います。

1. テキストをタッチします。テキスト フィールドにテキストが入力された状態で、画面キーボードが表示されます。
2. 選択するテキストをタッチしてその状態を維持します。[テキストの編集]メニューが表示されます。
3. [単語の選択] または [すべて選択] をタッチします。

選択したテキストがオレンジ色に強調表示され、選択したテキストの両端にタブが表示されます。

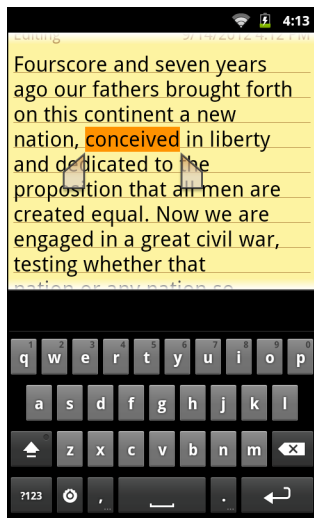



図 2-9 テキストの選択

4. どちらかのタブをドラッグして、テキストの選択範囲を増減します。
5. 選択したテキストを削除するには、[削除] キーをタッチします。 
6. 選択したテキストを置き換えるには、新しいテキストを入力して、選択したテキストを上書きするか、テキストをタッチして、[テキストの編集]メニューから [貼り付け] をタッチします。
7. テキストの切り取りまたはコピーを行うには、選択したテキストをタッチして、[テキストの編集]メニューから [切り取り] または [コピー] をタッチします。

キーボード言語の変更

異なる言語レイアウトを使用するようにキーボードを設定できます。詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。現在のキーボード言語を変更するには、次の手順に従います。

1. スペースバーをタッチして、その状態を維持します。
2. ポップアップ ウィンドウに言語名が表示されるまで、指を左右にスライドします。

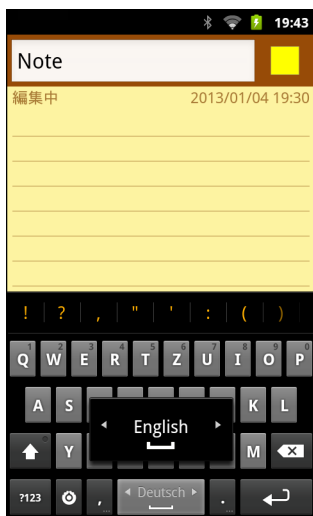


図 2-10 キーボード言語の変更

- 指を放します。キーボードレイアウトが新しい言語に変わります。

アプリケーション

[起動プログラム]には、インストールされているすべてのアプリケーションのアイコンが表示されます。[表 2-4](#)は、MC40 のデフォルト アプリケーションを示しています。アプリケーションのインストールとアンインストールの詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

表 2-4 MC40 のデフォルト アプリケーション

アイコン	説明	アイコン	説明
	[ブラウザ] - インターネットまたはイントラネットにアクセスするために使用します。		[電卓] - 基本演算機能および科学演算機能を備えています。
	[カレンダー] - イベントおよび予定を管理するために使用します。		[カメラ] - 写真を撮ったり、ビデオを録画したりします。詳細については、 6-5 ページの「写真やビデオの表示」 を参照してください。
	[時計] - 予定のアラームをスケジュール設定するために使用したり、目覚ましとして使用したりします。		[連絡先] - 連絡先の情報を管理するために使用します。
	[DataWedge] - カメラまたはオプションのスキヤナを使用して、データを取得できるようにします。		[ダウンロード] - すべてのダウンロードファイルをリストします。
	[DWDemo] - カメラ、スキヤナ、または磁気ストライプリーダーを使用したデータ収集機能をデモンストレーションする手段を提供します。		[電子メール] - 電子メールを送受信するために使用します。

表 2-4 MC40 のデフォルト アプリケーション (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	[ファイル ブラウザ] - MC40 上のファイルを整理および管理します。詳細については、 2-20 ページの「ファイル ブラウザの使用」 を参照してください。		[ギャラリー] - オンデバイスストレージに保存されている写真を表示するのに使用します。詳細については、 6-5 ページの「写真やビデオの表示」 を参照してください。
	[MC40 ユーザー ガイド] - オンデバイスのユーザー ガイドを表示します。		[MSP エージェント] - MSP Server から MC40 を管理できます。必要なレベルの管理機能を使用するには、デバイスごとに適切な MSP クライアントライセンスを購入する必要があります。
	[音楽] - オンデバイスストレージに保存されている音楽を再生します。		[PTT Express] - Voice Over IP (VoIP) 通信のための PTT Express クライアントを起動するのに使用します。
	[高速導入] - 設定、ファームウェア、およびソフトウェアの導入を開始することで、初期使用に向けて MC40 がデバイスをステージングできるようにします。デバイスごとに MSP クライアントライセンスを購入する必要があります。		[検索] - Google 検索エンジンを使用して、インターネットおよび MC40 を検索します。
	[設定] - MC40 を設定するために使用します。詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。		[Wi-Fi 設定] - MC40 Wi-Fi 設定で使用します。詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。
	[アプリケーション ロック管理者] - アプリケーション ロック機能を設定するために使用します。このアイコンは、オプションのアプリケーションがインストールされた後に表示されます。		[MultiUser 管理者] - MultiUser 機能を設定するために使用します。このアイコンは、オプションのアプリケーションがインストールされた後に表示されます。
	[ストレージ保護管理者] - ストレージ保護機能を設定するために使用します。このアイコンは、オプションのアプリケーションがインストールされた後に表示されます。		


[起動プログラム] を開くには、ホーム画面で  をタッチします。[起動プログラム] ウィンドウが表示されます。



図 2-11 [起動プログラム] ウィンドウ

[起動プログラム] ウィンドウを上下にスライドすると、その他のアプリケーションアイコンが表示されます。アプリケーションを開くには、アイコンをタッチします。

- ✓ **注** ホーム画面にショートカットを作成する方法の詳細については、[2-6 ページの「ショートカット」](#)を参照してください。

現在使用されているアプリケーション間で切り替えるには、次の手順に従います。


1.  をタッチし、その状態をしばらく維持します。現在使用されているアプリケーションのアイコンが表示された小さいウィンドウが画面に表示されます。



図 2-12 現在使用されているアプリケーション

2. アイコンをタッチして開くか、 を押して現在の画面に戻ります。

画面のロック解除

[画面のロック] を使用して、MC40 上のデータへのアクセスを保護します。電子メール アカウントによっては、画面をロックする必要がある場合があります。ロック機能の設定の詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。ロック機能は、[単一ユーザー] モードと [複数ユーザー] モードで動作が異なります。

[単一ユーザー]モード

画面がロックされた場合に MC40 のロックを解除するには、パターン、PIN、またはパスワードが必要です。電源ボタンを押して、画面をロックします。定義済みのタイムアウト時間が経過した場合も MC40 はロックされます。

MC40 をウェイクアップするには、電源ボタンを押して放します。

[ロック]画面が表示されます。🔒 を左にスライドして、画面のロックを解除します。[パターン]画面のロック解除機能が有効な場合は、[ロック]画面ではなく、[パターン]画面が表示されます。

[PIN] または [パスワード] 画面のロック解除機能が有効な場合は、画面をロック解除した後に、PIN またはパスワードを入力します。

✓ **注** 正しくない PIN、パスワードまたはパターンを 5 回入力すると、再試行するまで 30 分待たなければならなくなります。

PIN、パスワードまたはパターンを忘れた場合は、システム管理者に連絡してください。



図 2-13 ロック画面

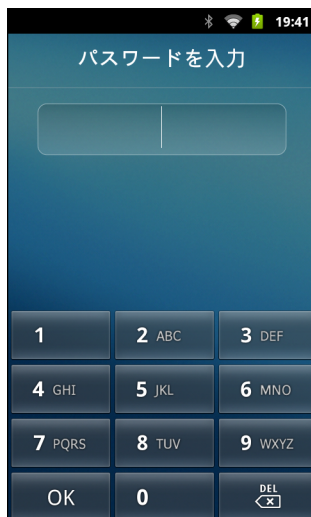


図 2-14 [PIN] 画面



図 2-15 [パターン] 画面

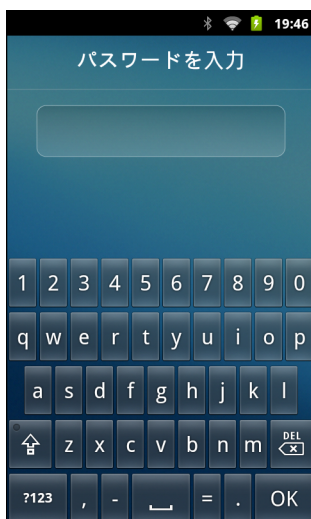


図 2-16 [パスワード] 画面

MultiUser ログイン

MultiUser ログインを使用すると、複数のユーザーが MC40 にログインし、各ユーザーがさまざまなアプリケーションや機能へのアクセス権を持つことができます。これが有効になっている場合は、電源がオンになった後、リセットされた後、またはサスペンドモードから MC40 がウェイクアップした後に [ログイン] 画面が表示されます。

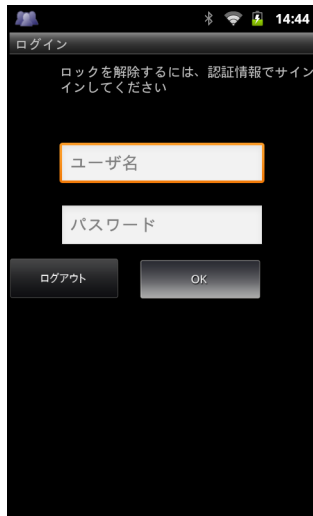


図 2-17 【複数ユーザーのログイン】画面

1. 【ログイン】テキスト フィールドに、ユーザー名を入力します。
2. 【パスワード】テキスト フィールドに、パスワードを入力します。
3. 【OK】をタッチします。

サスペンドから再開した後、ユーザーはパスワードを入力する必要があります。

ログアウトするには、次の手順に従います。

1. 画面の上部からステータス バーを下にドラッグします。
2. 【MultiUser が有効】をタッチします。
3. 【ログアウト】をタッチします。
4. 【ログイン】画面が表示されます。

MC40 のリセット

リセット機能には、ソフト リセットとハード リセットという 2 つの種類があります。

ソフト リセット

MC40 上のアプリケーションが応答を停止した場合は、ソフト リセットを実行します。ソフト リセットを実行するには、次の手順に従います。

1. 【デバイスのオプション】メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. 【リセット】をタッチします。
3. MC40 はシャットダウンした後、再起動します。

ハードリセット

MC40 が応答を停止した場合は、ハードリセットを実行します。ハードリセットを実行するには、[電源] ボタン、左の [スキャン/アクション] ボタン、および [音量をアップ] ボタンを同時に押します。MC40 はシャットダウンした後、再起動します。

サスペンドモード

[電源] ボタンを押すか非アクティブの状態が一定時間 ([ディスプレイの設定] ウィンドウで設定) 続くと、MC40 はサスペンドモードに移行します。

MC40 をサスペンドモードから起動させるには、[電源] ボタンを押します。

[ロック] 画面が表示されます。🔒 を左にスライドして、画面のロックを解除します。[パターン] 画面のロック解除機能が有効な場合は、[ロック] 画面ではなく、[パターン] 画面が表示されます。[2-15 ページの「画面のロック解除」](#)を参照してください。



図 2-18 ロックされた画面

ファイル ブラウザの使用

ファイル ブラウザ アプリケーションを使用して、MC40 上のファイルを表示および管理します。













ファイル ブラウザを開くには、 > [ファイル ブラウザ] をタッチします。



図 2-19 ファイル ブラウザの画面

- 複数のファイル/フォルダを選択するには、 をタッチします。
-  をタッチすると、MC40 内部ストレージのルート フォルダが表示されます。
-  をタッチすると、オンデバイス ストレージ フォルダが表示されます。
-  をタッチすると、以前のフォルダが表示されます。
- フォルダ アイコンをタッチすると、フォルダが開きます。
- 項目に何らかの操作を行うには、その項目をタッチして、その状態を維持します。メニューの次のオプションから 1 つを選択します。
 - [情報] - ファイルまたはフォルダについての詳細情報を表示します。
 - [移動] - ファイルまたはフォルダを新しい場所に移動します。
 - [コピー] - 選択したファイルをコピーします。
 - [削除] - 選択したファイルを削除します。
 - [名前変更] - 選択したファイルを名前変更します。
 - [次のタイプとして開く] - 選択したファイルを特定のファイル タイプとして開きます。

- 追加機能を表示するには、 をタッチします。
 - 現在のフォルダ内に新しいフォルダを作成するには、 > **[新しいフォルダ]** をタッチします。
 - ファイルまたはフォルダを検索するには、 > **[検索]** をタッチします。
 - リストを名前、タイプ、サイズ、または日付ごとに分類するには、 > **[分類]** をタッチします。
 - 現在のフォルダの内容を再表示するには、 > **[最新表示]** をタッチします。
 - フォルダ ビューをタイル形式からリスト形式に変更するには、 > **[ビューの変更]** をタッチします。
 - **[大]**、**[中]**、または **[小]** など、アイコンのサイズを変更するには、 > **[詳細]** > **[サイズの変更]** をタッチします。

パスとフォルダ名を手動で入力するには、現在のフォルダのパスをタッチします。

PTT Express Voice Client



PTT Express では、[電源] ボタンを押すと表示が消えますが、WLAN 無線はオンの状態のままとなりますので、MC40 は着信通話を受信することができます。

PTT Express Voice Client には、個別のエンタープライズ デバイス間でプッシュトゥトーク (PTT) 通信を行う機能があります。PTT Express は、既存のワイヤレス ローカル エリア ネットワーク (WLAN) インフラストラクチャを利用して、音声通信サーバーなしでシンプルな PTT 通信機能を提供します。

- **グループ ブロードキャスト:** [PTT] (Talk) ボタンを押して、他の音声クライアント ユーザーとの通信を開始します。
- **プライベート応答:** 左の [スキャン/アクション] (プライベート) ボタンを押して、最後のブロードキャストの発信元に応答するか、プライベート応答を行います。

PTT 音声通知

音声クライアントを使用するときに、以下の通知音が役立ちます。

- **トーク トーン:** 2 回鳴ります。[送信] (または [プライベート]) ボタンを押すと再生されます。これは、通話の開始をユーザーに要求します。
- **アクセス トーン:** 1 回のビーブ音です。別のユーザーがブロードキャストまたは応答を終了したときに再生されます。これで、ユーザーはグループ ブロードキャストまたはプライベート応答を開始できるようになります。
- **ビジー トーン:** 連続的に鳴ります。[送信] (または [プライベート]) ボタンを押すと再生され、同じトークグループで別のユーザーがすでに通信を開始しています。
- **ネットワーク トーン:**
 - 3 回の徐々に大きくなるビーブ音です。PTT Express が WLAN 接続を取得しており、音声通信の準備ができているときに再生されます。
 - 3 回の徐々に小さくなるビーブ音です。PTT Express が WLAN 接続を失い、音声通信ができなくなったときに再生されます。

PTT 通信を有効にする

PTT 通信を有効にするには:

1.  > **[PTT Express]** をタッチします。**[PTT Express]** ウィンドウが表示されます。



図 2-20 **[PTT Express]** ウィンドウ

2. **[オフ]** ボタンにタッチして、PTT Express をオンにします。ボタンが青い **[オン]** ボタンに変わります。

トーク グループの選択

PTT Express ユーザーは、32 のトーク グループの 1 つを選択できます。ただし、MC40 で一度に有効にできるのは、1 つのトーク グループのみです。

1. 32 の **[トークグループ]** ボタンの 1 つをタッチします。確認ダイアログ ボックスが表示されます。
2. **[OK]** をタッチしてホーム画面に戻ります。

PTT 通信

- ✓ **注** メッセージが画面に表示され、MC40 が WLAN に接続されていない場合は、PTT サービスがアクティブにならないことを示します。

PTT 通信は、グループ ブロードキャストまたはプライベート応答として確立されます。PTT Express が有効になると、MC40 の左側のボタンが PTT 通信に割り当てられます。

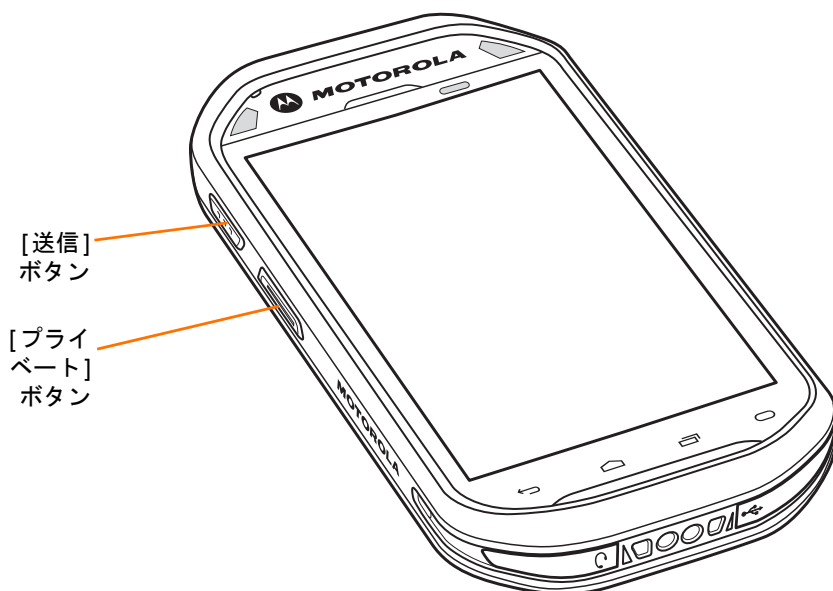


図 2-21 MC40 PTT ボタン

グループ ブロードキャスト (1 対多)

1. [送信] ボタンを押したままにすると、トーク トーンが再生されます。
ビジー トーンが再生される場合は、[送信] ボタンを離して、次の動作までしばらく待ちます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認します。
2. ビジー トーンが再生されたら、通話を開始します。

- ✓ **注** [送信] ボタンを 60 秒 (既定) 以上押し続けると、通話が終了して、他のユーザーがグループ ブロードキャスト通話を開始できるようになります。通話が終わったら、ユーザーは [送信] ボタンを離して他のユーザーが通話を開始できるようにする必要があります。

3. 通話が終わったら、[送信] ボタンを離します。

グループ ブロードキャストへの応答

グループ ブロードキャストに応答するには

1. アクセス トーンが鳴るまで待ちます。
2. [送信] ボタンを押したままにすると、トーク トーンが再生されます。
ビジー トーンが再生される場合は、[送信] ボタンを離して、次の動作までしばらく待ちます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認します。

3. ビジー トーンが再生されたら、通話を開始します。
4. 通話が終わったら、[送信] ボタンを離します。

プライベート応答 (1 対 1)



プライベート応答を開始できるのは、グループ ブロードキャストが確立されてからです。

最初のプライベート応答は、グループ ブロードキャストの最後の話し手に対してのみ行うことができます。

1. アクセス トーンが鳴るまで待ちます。
2. 10 秒以内に [プライベート] ボタンを押したままにすると、トーク トーンが再生されます。
ビジー トーンが再生される場合は、[プライベート] ボタンを離して、次の動作までしばらく待ちます。
PTT Express と WLAN が有効であることを確認します。
3. ビジー トーンが再生されたら、通話を開始します。
4. 通話が終わったら、[プライベート] ボタンを離します。

PTT Express Voice Client 通信を無効にする

PTT 通信を無効にするには：

1.  > [PTT Express] をタッチします。
2. [オン] ボタンをタッチして、PTT Express をオフにします。ボタンが灰色の [オフ] ボタンに変わります。
3.  をタッチします。

第3章 データ収集

はじめに

MC40 では、次のようにしてデータを収集することができます。

- 内蔵イメージャ
- 内蔵デジタル カメラ
- 磁気ストライプ リーダー (MSR)

✓ **注** DataWedge は、デフォルトで MC40 にインストールされ、有効に設定されています。

イメージャ

イメージャ搭載の MC40 は、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニア コード、ポスタル コード、PDF417 コード、2D マトリックス コードを含む、各種バーコード シンボルの無指向読み取り。
- 容易な読み取り操作を可能にする、十字による直感的な高性能レーザー照準機能。

イメージャは、デジタル カメラの技術を使用してバーコードのデジタル画像を撮影し、画像をメモリに保存して、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からデータを抽出します。

動作モード

統合イメージャ搭載の MC40 は、次の 2 つの動作モードをサポートしています。各モードを有効にするには、スキャン/アクション ボタンを押します。

- **読み取りモード**: このモードでは MC40 は、読み取り幅内にあるバーコードを見つけて読み取ります。スキャン/アクション ボタンを押している間、またはバーコードを読み取るまで、イメージャはこのモードのままになります。

✓ **注** ピック リスト モードを有効にするには、DataWedge で設定します。

- **ピック リスト モード:** このモードでは、MC40 の読み取り幅内に複数のバーコードが存在する場合に、選択的にバーコードを読み取ることができます。選択的に読み取るには、目的のバーコードに照準の十字を合わせて、そのバーコードのみを読み取ります。この機能は、複数のバーコードが含まれているピック リストや、複数のタイプ (1D または 2D) のバーコードが含まれている製造ラベルや輸送ラベルを読み取るのに適しています。

デジタル カメラ

内蔵カメラ ベースのバーコード スキャン ソリューションを備えた MC40 には、次の機能があります。

- 最も一般的なリニアコード、ポスタルコード、QR、PDF417、および 2D マトリックスコードタイプを含む、各種バーコード シンボルの無指向読み取り。
- 容易な読み取り操作を可能にするクロスヘア レクチル。
- 読み取り幅内の多数のバーコードから特定のバーコードを読み取るピックリスト モード。

このソリューションでは、高度なカメラ技術を使用してバーコードのデジタル画像を撮影し、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からデータを抽出します。

スキャン操作に関する考慮事項

通常、スキャン操作は、照準合わせ、スキャン、読み取りなど、すぐに習得可能なくつかの読み取り試行操作から構成されますが、最適なスキャン効率を実現するためにも次のことを考慮してください。

- **範囲**

スキャン デバイスは、特定の読み取り幅 (バーコードからの最小距離と最大距離の範囲内) にある場合に正しく読み取りを行います。この範囲は、バーコードの密度とスキャン デバイスの光学系によって異なります。

範囲内でスキャンすることで、すばやく連続して読み取ることができます。近すぎたり遠すぎたりすると、正しく読み取ることができません。スキャナを近づけたり遠ざけたりして、スキャンするバーコードの適切な読み取り幅を見つけてください。
- **角度**

スキャン角度は、すばやく読み取るために重要です。バーコードに当たったレーザー光線が反射してスキャナに直接戻ってくるような角度でスキャンした場合、この正反射によりスキャナは読み取れなくなります。

これを回避するには、光線が正反射しないような角度でバーコードをスキャンしてください。ただし、正しく読み取るためにスキャナは散乱した反射光線を収集する必要があるため、あまりに鋭角な角度ではスキャンしないでください。練習することで、適切な作業範囲をすばやく確認できます。
- 大きなシンボルの場合は、MC40 を離してください。
- バーの間隔が狭いシンボルの場合は、MC40 を近づけてください。

✓ **注** スキャン手順は、アプリケーションと MC40 の構成によって異なります。アプリケーションによっては、スキャン手順が上記とは異なる場合があります。

イメージャを使用したバーコードデータの収集

バーコードデータを収集するには、次の手順に従います。

1. アプリケーションが MC40 で開かれていることと、テキストフィールドがフォーカスされている (テキストカーソルがテキストフィールドにある) ことを確認します。
2. EMC40 の先端をバーコードの方に向けます。

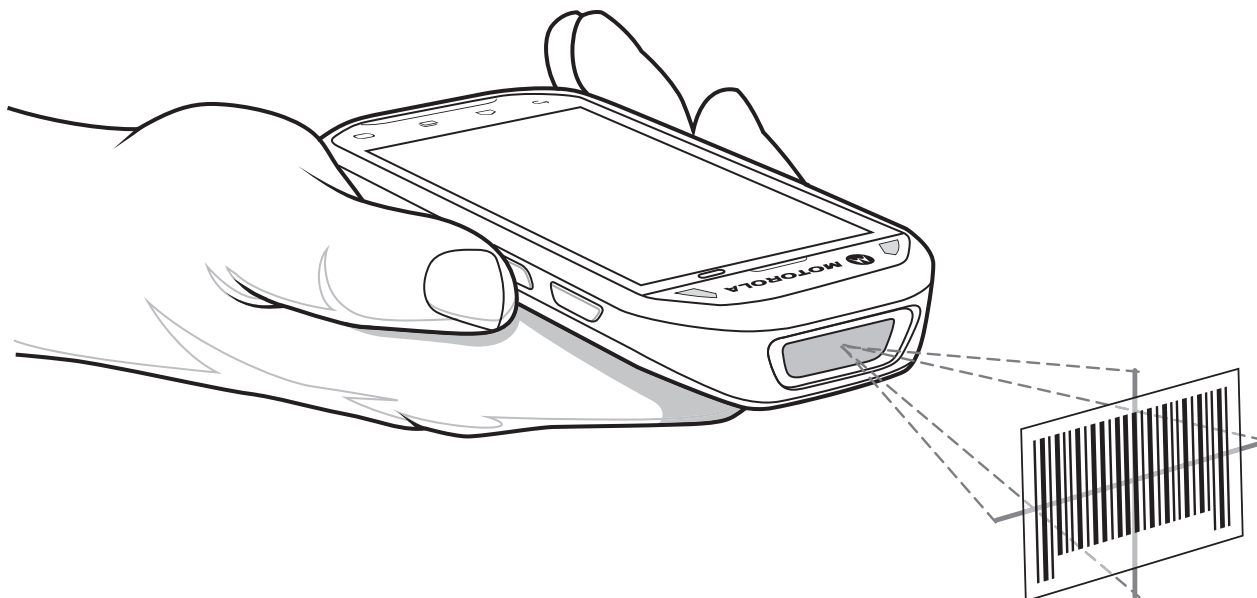


図 3-1 バーコードスキャナ

3. [スキャン]/[アクション] ボタンを押し、その状態を維持します。

照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。照準パターンのブラケット内の領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準ドットは明るい照明条件下で表示性能を向上するために使用されます。

左右の LED が赤色で点灯し、スキャン中であることを示します。その後、緑色で点灯してピープ音が鳴り、MC40 が振動して (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。MC40 がピック リスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまで MC40 はバーコードを読み取りません。

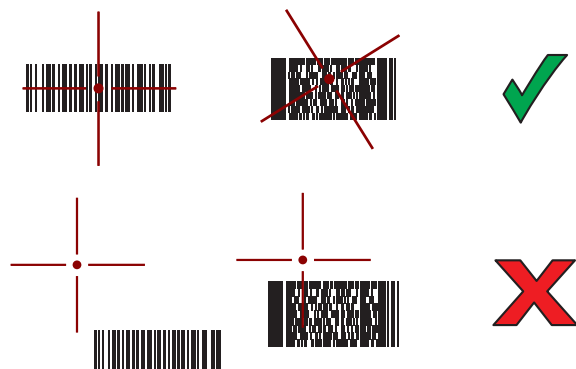


図 3-2 照準パターン



図 3-3 ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合

4. 右の [スキャン]/[アクション] ボタンを離します。
5. 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。

内蔵カメラを使用したバーコード データの収集

バーコード データを収集するには、次の手順に従います。

1. アプリケーションが MC40 で開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. 背面のカメラをバーコードに向けます。
3. 右の [スキャン]/[アクション] ボタンを押し、その状態を維持します。デフォルトで、プレビュー ウィンドウが画面に表示されます。左右の LED が赤く点灯して、データの収集中であることを示します。

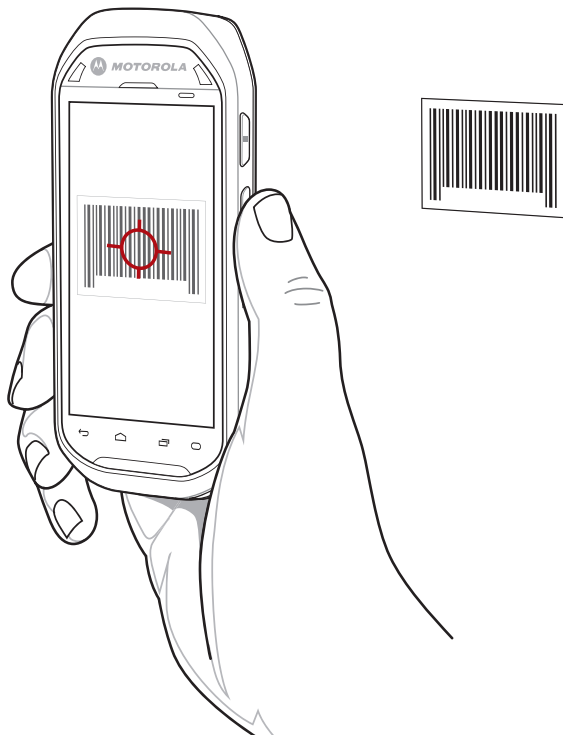


図 3-4 プレビュー ウィンドウを備えたサンプルのスキャン アプリケーション

4. バーコードが赤いターゲットに入るまで、MC40 を移動します。

5. 読み取り LED が緑色で点灯してビープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。
6. 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。

磁気ストライプカードを読み取る

磁気ストライプカードを読み取るには、内蔵 MSR を使用します。

1. DataWedge で **MSR 入力**が有効になっていて、カーソルがテキスト フィールド内にあることを確認してください。
2. カードの磁気ストライプをディスプレイに向けて揃え、どちらかの方向にカードを通します。

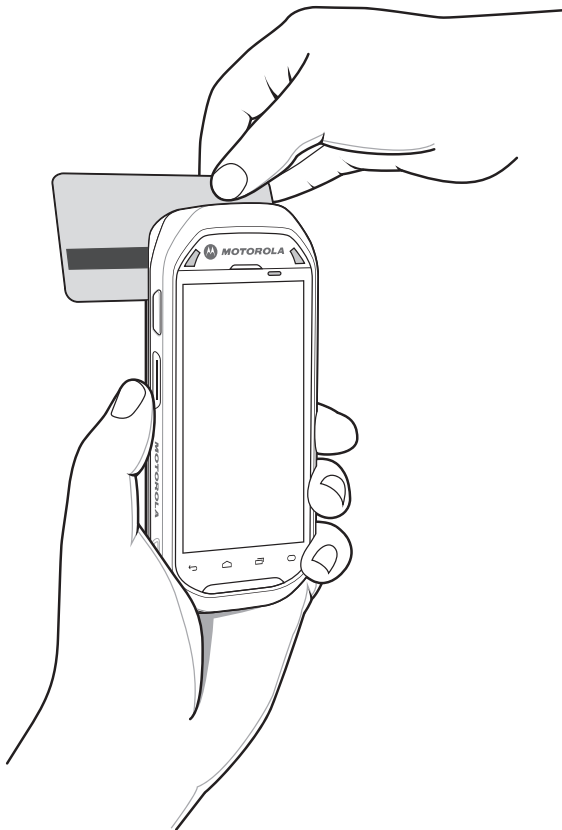


図 3-5 磁気ストライプカードを通す



3. 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。

DataWedge

DataWedge は、コードを作成せずに、アプリケーションに高度なバーコード スキャン機能を追加するユーティリティです。これはバックグラウンドで実行され、組み込み型と接続型の両方のバーコード スキャナへのインタフェースを処理します。収集されたバーコード データはキーストロークに変換され、キーパッドで入力したかのように、目的のアプリケーションに送信されます。



DataWedge の有効化

DataWedge を有効にするには、次の手順に従います。

1.  > [DataWedge] をタッチします。[DataWedge のプロファイル] ウィンドウが表示されます。
2. 使用するプロファイルをタッチします。
3. [プロファイルの有効化] チェックボックスをタッチします。緑色のチェックマークがチェックボックスに表示されます。
4.  をタッチします。

DataWedge の無効化

DataWedge を無効にするには、次の手順に従います。

1.  > [DataWedge] をタッチします。[DataWedge のプロファイル] ウィンドウが表示されます。
2. 使用するプロファイルをタッチします。
3. [プロファイルの有効化] チェックボックスをタッチします。緑色のチェックマークがチェックボックスから削除されます。
4.  をタッチします。

設定

DataWedge の設定の詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

第4章 WLAN

はじめに

ワイヤレス ローカル エリア ネットワーク (WLAN) を使用すると、MC40 は屋内でも無線で通信できるようになります。WLAN で MC40 を使用するには、WLAN を実行するために必要なハードウェア (インフラストラクチャとも呼ばれます) を施設に設定する必要があります。この通信を有効にするには、インフラストラクチャと MC40 の両方を正しく設定する必要があります。

インフラストラクチャの設定方法については、インフラストラクチャ (アクセス ポイント (AP)、アクセス ポート、スイッチ、Radius サーバーなど) に付属しているマニュアルを参照してください。

選択した WLAN セキュリティ方式を適用するようにインフラストラクチャを設定したら、**[無線/ネットワーク]** 設定を使用して、そのセキュリティ方式に適合するように MC40 を設定してください。

✓ **注** 使用しないときは Wi-Fi をオフにすると、バッテリーの消費を避けられます。

ステータス バーには、Wi-Fi ネットワークが利用できるかを示すアイコンと、Wi-Fi の状態を示すアイコンが表示されます。詳細については、[2-3 ページの「ステータス バー」](#)を参照してください。

Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続

MC40 に WLAN をセットアップするには、次の手順に従います。


1.  > **[設定]** > **[無線/ネットワーク]** をタッチします。
2. **[Wi-Fi]** チェックボックスが緑のマークでチェックされていることを確認します。チェックされていない場合は、**[Wi-Fi]** チェックボックスをタッチして、Wi-Fi をオンにします。
3. **[Wi-Fi の設定]** をタッチします。エリア内に WLAN があるか検索が開始され、**[Wi-Fi ネットワーク]** にリストが表示されます。



図 4-1 [Wi-Fi 設定] 画面

4. リスト内をスクロールして、使用する WLAN ネットワークを選択します。
5. オープン ネットワークの場合は、**[接続]** をタッチします。セキュア ネットワークの場合は、必要なパスワードや他の認証情報を入力して、**[接続]** をタッチします。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

MC40 は、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) プロトコルを使用してネットワークからネットワーク アドレスと他の必須情報を取得します。固定インターネット プロトコル (IP) アドレスを使用するように MC40 を設定する方法については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

6. Wi-Fi の設定フィールドに、**[ネットワーク名に接続]** が表示され、MC40 WLAN に接続されていることが示されます。

✓ **注** **[Wi-Fi 設定]** 画面が表示されている間、MC40 は継続的に AP をスキャンします。このスキャンは Wi-Fi 動作に影響します。この画面を使用するときは、**[戻る]** をタッチします。

第5章 Bluetooth

はじめに

Bluetooth を装備している MC40 は、周波数ホッピング方式スペクトル拡散 (FHSS) 無線周波数 (RF) を使用して 2.4GHz の産業科学医療用 (ISM) バンド (802.15.1) でデータを送受信することで、無線通信を行えます。Bluetooth 無線テクノロジーは、短距離 (10m/30 フィート) 通信用に特別に開発された、低消費電力の通信技術です。

Bluetooth 機能を搭載した MC40 は、プリンタ、アクセス ポイント、その他のモバイル デバイスといった Bluetooth 対応デバイスと、情報 (ファイル、予定、タスクなど) を交換することができます。

適応型周波数ホッピング

適応型周波数ホッピング (AFH: Adaptive Frequency Hopping) は、固定周波数干渉を回避する方式で、Bluetooth 音声通信に使用することができます。AFH を機能させるためには、piconet (Bluetooth ネットワーク) 内のすべてのデバイスが AFH に対応している必要があります。デバイスの接続時および検出時に AFH は行われません。重要な 802.11b 通信中は、Bluetooth 接続を確立したり、検出を行わないでください。Bluetooth の AFH は、次の 4 つの主なセクションから構成されています。

- チャンネル分類 - チャンネルごとに干渉を検出する方式、または定義済みのチャンネル マスクで干渉を検出する方式です。
- リンク管理 - AFH 情報を調整して、Bluetooth ネットワーク全体に AFH 情報を配信します。
- ホップシーケンス修正 - ホッピング チャンネル数を選択的に削減することで干渉を回避します。
- チャンネル メンテナンス - 定期的にチャンネルを再評価する方法です。

AFH が有効な場合、Bluetooth 無線は 802.11b 高速チャンネルを通るのではなく、「ホッピング」します。AFH の共存性により、Motorola 製のモバイル コンピュータはあらゆるインフラストラクチャで動作することができます。

MC40 の Bluetooth 無線は、Class 2 デバイス パワー クラスとして動作します。最大出力は 2.5 mW で、予想伝送距離は 10 m (32.8 フィート) です。伝送距離は、出力やデバイスの違いや空間 (開放空間または閉鎖されたオフィス空間) によって左右されるため、パワークラスに基づいて伝送距離を判断することは困難です。

- ✓ **注** 802.11b での高速な動作が求められる場合は、Bluetooth 無線テクノロジーの照会を実行することはお勧めしません。

セキュリティ

現在の Bluetooth 仕様は、リンク レベルでセキュリティを定義しています。アプリケーションレベルのセキュリティは指定されていません。このため、アプリケーション開発者は、各自のニーズに応じてカスタマイズしたセキュリティメカニズムを定義することができます。リンクレベルのセキュリティは、ユーザー間ではなくデバイス間に適用されるのに対して、アプリケーションレベルのセキュリティはユーザーごとに実装することができます。Bluetooth の仕様では、デバイスの認証に必要なセキュリティアルゴリズムとプロシージャ、および必要に応じてデバイス間で伝送されるデータを暗号化するためのセキュリティアルゴリズムとプロシージャを定めています。デバイスの認証は、Bluetooth の必須の機能ですが、リンクの暗号化は任意の機能です。

Bluetooth デバイスのペアリングは、デバイスを認証して、デバイスのリンク キーを作成するための初期化キーを作成することで行われます。ペアリングしたデバイスの共通個人識別番号 (PIN) を入力することで、初期化キーが生成されます。PIN 番号は無線で送信されません。デフォルトでは、Bluetooth スタックは、キーが要求されたときにキーなしで応答します (キー要求イベントに応答するかどうかはユーザー次第です)。Bluetooth デバイスの認証は、チャレンジレスポンス トランザクションをベースにしています。Bluetooth では、他の 128 ビットキーの作成に使用した PIN 番号またはパスキーをセキュリティおよび暗号化のために使用することができます。暗号化キーは、ペアリング デバイスの認証に使用したリンク キーから導出されます。また、Bluetooth 無線の制限された伝送距離と高周波ホッピングにより、離れた場所からの盗聴が困難であることも特長の 1 つです。

推奨事項

- セキュリティ保護された環境でペアリングを行う
- PIN コードを公開しない。および PIN コードを MC40 に保存しない
- アプリケーションレベルのセキュリティを実装する

MC40 は、Secure Simple Pairing をサポートします。Secure Simple Pairing により、Bluetooth デバイスのペアリングが向上し、セキュリティの使用頻度と強度が高まります。ホストとリモート デバイスの両方で Secure Simple Pairing をサポートしている必要があります。1 つのデバイスがサポートしていない場合は、標準のペアリングが使用されます。

Bluetooth プロファイル

MC40 では、次の Bluetooth プロファイルがサポートされます。

- 一般アクセス プロファイル (GAP) - デバイスの検出と認証に使用します。
- サービス検索プロトコル (SDP) - 既知のサービスと特殊なサービス、および一般サービスを検索します。
- シリアルポート プロファイル (SPP) - 仮想シリアルポートをセットアップして、2 つの Bluetooth 対応デバイスを接続します。たとえば、MC40 をプリンタに接続します。
- ヒューマンインタフェース デバイス プロファイル (HID) - Bluetooth キーボード、ポインティング デバイス、ゲーム デバイス、およびリモート デバイスを MC40 に接続します。
- オブジェクト プッシュ プロファイル (OPP) - MC40 とプッシュ サーバーの間で、オブジェクトのプッシュとプルを可能にします。

- ダイアルアップ ネットワーク (DUN) - MC40 が、Bluetooth 対応の携帯電話を使用してインターネットと他のダイアルアップ サービスにアクセスできるようにします。
- ヘッドセット プロファイル (HSP) - Bluetooth ヘッドセットが MC40 と通信できるようにします。
- 高品質オーディオ配信プロファイル (A2DP) - MC40 がステレオ品質のオーディオ ストリームを無線ヘッドセットまたは無線ステレオ スピーカーに配信できるようにします。
- オーディオ ビデオ リモート コントロール プロファイル (AVRCP) - MC40 がテレビやハイファイ 機器など制御できるようにします。

Bluetooth の電源の状態

Bluetooth 無線がデフォルトでオフになっていることを示します。

サスペンド

MC40 がサスペンド モードになっても、Bluetooth 無線はオンのままです。

機内モード

MC40 が機内モードになっている場合、Bluetooth 無線の電源はオフになります。機内モードが無効になっている場合、Bluetooth 無線は前の状態に戻ります。機内モードのとき、必要に応じて Bluetooth 無線を元の状態に戻すことができます。



Bluetooth オン/オフの切り替え

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスは MC40 を検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。

✓ **注** 未使用時に無線をオフにすることで、バッテリーを節約することができます。



Bluetooth の有効化

Bluetooth を有効にするには、次の手順に従います。

1.  > [設定] > [無線/ネットワーク] をタッチします。
2. [Bluetooth] チェックボックスをタッチします。Bluetooth が有効になったことを示す緑色のチェックマークがチェックボックスに表示されます。Bluetooth アイコンもステータス バーに表示されます。
3.  をタッチします。

Bluetooth の無効化

Bluetooth を無効にするには、次の手順に従います。

1.  > [設定] > [無線/ネットワーク] をタッチします。
2. [Bluetooth] チェックボックスをタッチします。緑色のチェックマークがチェックボックスから消え、Bluetooth が無効になったことが示されます。
3.  をタッチします。

Bluetooth デバイスを検出する

MC40 は、検出されたデバイスと結合していなくても、そのデバイスから情報を受信できます。ただし、結合しておくくと、Bluetooth 無線をオンにしたときに MC40 と結合済みのデバイスは自動的に情報を交換します。

通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。


1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
3. 2つのデバイスの距離が 10 m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
4.  > [設定] > [無線/ネットワーク] > [Bluetooth の設定] をタッチします。
5. [デバイスのスキャン] をタッチします。エリア内に検出できる Bluetooth デバイスがあるか検索が開始され、[Bluetooth デバイス] にデバイスのリストが表示されます。
6. リストをスクロールし、デバイスを選択します。[Bluetooth ペアリングの依頼] ダイアログボックスが表示されます。



図 5-1 Bluetooth のペアリング - PIN の入力





図 5-2 Bluetooth のペアリング - シンプル ペアリング

7. テキスト ボックスに PIN を入力して、[OK] をタッチします。

8. 接続先デバイスに同じ PIN を入力します。
9. シンプル ペアリングでは、両方のデバイスで **[ペア]** をタッチします。
10. Bluetooth デバイスが **[Bluetooth デバイス]** リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。


Bluetooth の名前の変更

デフォルトで、MC40 では汎用の Bluetooth 名が使用され、他のデバイスに接続されるとそのデバイスに表示されます。この Bluetooth 名を変更するには、次の手順に従います。

1.  > **[設定]** > **[無線/ネットワーク]** > **[Bluetooth の設定]** をタッチします。
2. Bluetooth の電源がオンになっていない場合は、**[Bluetooth]** をタッチして、電源をオンにします。
3. **[デバイス名]** をタッチします。**[デバイス名]** ダイアログ ボックスが表示されます。
4. 名前を入力して、**[OK]** をタッチします。
5.  をタッチします。

Bluetooth デバイスへの接続


ペアリングを行って Bluetooth デバイスに接続するには、次の手順に従います。


1.  > **[設定]** > **[無線/ネットワーク]** > **[Bluetooth の設定]** をタッチします。
2. Bluetooth の電源がオンになっていない場合は、**[Bluetooth]** をタッチして、電源をオンにします。
3. **[Bluetooth デバイス]** リストで、メニューが表示されるまで、接続されていない Bluetooth デバイスをタッチし、その状態をしばらく維持します。
4. **[接続]** をタッチします。接続されると、そのデバイスがリスト内に接続済みとして表示されます。

✓ **注** すべてのプロファイルが **Bluetooth デバイス** リストに一覧されているわけではありません。たとえば、FTP プロファイルは記載されていません。サードパーティ アプリケーションとの Bluetooth 接続は、**ペアリング**として表示されますが、**接続されません**。

Bluetooth デバイスでのプロファイルの選択



一部の Bluetooth デバイスには複数のプロファイルが含まれています。プロファイルを選択するには、次の手順に従います。

1.  > **[設定]** > **[無線/ネットワーク]** > **[Bluetooth の設定]** をタッチします。
2. **[Bluetooth デバイス]** リストで、メニューが表示されるまで Bluetooth デバイスをタッチし、その状態をしばらく維持します。
3. **[オプション]** をタッチします。**[接続先 ...]** 画面が表示されます。

4. [プロフィール]の下で、プロフィールをオンまたはオフにして、MC40 がプロフィールを使用できるようにします。
5.  をタッチします。



Bluetooth デバイスからの切断

Bluetooth デバイスから切断するには、次の手順に従います。

1.  > [設定] > [無線/ネットワーク] > [Bluetooth の設定] をタッチします。
2. [Bluetooth デバイス] リストで、メニューが表示されるまでデバイスをタッチし、その状態をしばらく維持します。
3. [切断] をタッチします。
4.  をタッチします。

Bluetooth デバイスのペアリング解除

Bluetooth デバイスのペアリングを解除してすべてのペアリング情報を消去するには、次の手順に従います。

1.  > [設定] > [無線/ネットワーク] > [Bluetooth の設定] をタッチします。
2. [Bluetooth デバイス] リストで、メニューが表示されるまでデバイスをタッチし、その状態をしばらく維持します。
3. [ペアリング解除] または [切断/ペアリング解除] をタッチします。
4.  をタッチします。

第6章 写真とビデオ

はじめに


ここでは、内蔵デジタルカメラを使用した写真の撮影とビデオの録画について説明します。

写真とビデオは、オンデバイスストレージに保存されます。写真やビデオをホストコンピュータにコピーする方法については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

写真の撮影

✓ **注** カメラ設定の説明については、[6-2 ページの「カメラの設定」](#)を参照してください。


写真を撮影するには、次の手順に従います。

1.  > [カメラ] をタッチします。




ビデオ/カメラの切り替え

図 6-1 カメラモード

2. 必要に応じて、ビデオ/カメラ スライダを  の位置にスライドさせます。
3. カメラ設定を使用して、露出、フラッシュ、およびその他の設定を調整します。詳細については、[6-2 ページの「カメラの設定」](#)を参照してください。
4. ズーム アイコン [1x] をタッチして、ズーム レベルを選択します。
5. 被写体を画面のフレームに合わせます。
6. 画面上のシャッター ボタンをタッチします。

カメラが自動的に画像のピントを合わせます。画像のピントが合ったら、四隅のフォーカス インジケータが緑色に変わり、カメラは写真を撮影して、シャッター音が鳴ります。

✓ **注** シャッター音をオフにするには、 > [設定] > [サウンド] をタッチして、[サイレントモード] を有効にします。

または、写真を撮影する前にシャッター アイコンをタッチしてその状態を維持し、先にピントを合わせてから、アイコンを放してピントの合った写真を撮影します。







撮影した写真が短時間表示された後、サムネイルとして右上隅に表示されます。

7. サムネイルをタッチすると、[ギャラリー] に写真が表示されます。[6-5 ページの「写真やビデオの表示」](#)を参照してください。

カメラの設定


[カメラ] アプリケーションを使用して、写真やビデオの設定をコントロールします。

1. カメラモードの場合は、[カメラ] 設定が画面に表示されます。変更する設定のアイコンにタッチします。設定が画面に開きます。

- **[設定]**  - タッチすると、次の設定が表示されたスクローリング リストが開きます。
 - **[ピントモード]**- タッチして、オートフォーカス機能を設定します。オプション: **[自動]** (デフォルト)、**[無限遠]**、**[接写]**、**[ポートレート]**、**[過焦点]**、または **[連写]**。
 - **[露出]**- タッチして、露出設定を調整します。オプション: **+3**、**+2**、**+1**、**0** (デフォルト)、**-1**、**-2**、または **-3**。
 - **[シーンモード]**- タッチして、特定のシーンに合わせて作成されたカメラ設定の組み合わせを事前に選択します。オプション: **[自動]** (デフォルト)、**[ポートレート]**、**[風景]**、**[夜間]**、**[夜間ポートレート]**、**[シアター]**、**[ビーチ]**、**[雪]**、**[夕日]**、**[三脚使用]**、**[スポーツ]**、または **[パーティ]**。
 - **[写真サイズ]**- タッチして、写真のサイズ (ピクセル単位) を設定します。オプション: **[8M ピクセル]** (デフォルト)、**[5M ピクセル]**、**[3M ピクセル]**、**[2M ピクセル]**、**[VGA]**、または **[QVGA]**。
 - **[写真画質]**- タッチして、写真の画質を設定します。オプション: **[最高画質]** (デフォルト)、**[高画質]**、または **[ノーマル]**。
 - **[色効果]**- タッチして、特殊効果を選択します。オプション: **[なし]** (デフォルト)、**[セピア]**、**[ネガ]**、**[露光過度]**、**[アクア]**、**[赤強調]**、**[青強調]**、または **[緑強調]**。
 - **[カメラ設定]**- **[初期設定に戻す]** をタッチすると、すべてのカメラ設定が初期設定値に戻ります。
- **[ホワイトバランス]**- タッチして、最も自然な色調になるように、光りの加減に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
 -  **[自動]** - ホワイト バランスを自動的に調整します (デフォルト)。
 -  **[白熱灯]** - 白熱灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
 -  **[昼光]** - 昼光に適するようにホワイト バランスを調整します。
 -  **[蛍光灯]** - 蛍光灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
 -  **[曇り]** - 曇天の環境に適するようにホワイト バランスを調整します。
- **[ズーム]**- タッチすると、1 倍から 8 倍にズームします。

ビデオの録画



ビデオを録画するには、次の手順に従います。

1.  > [カメラ] をタッチします。




ビデオ/カメラの切り替え

図 6-2 ビデオ モード

2. 必要に応じて、ビデオ/カメラ スライダを  の位置にスライドさせます。
3. 使用するカメラを選択して、画質、色効果、フラッシュ、およびその他の設定を調整します。
4. レンズとフレームを被写体に向けます。
5.  をタッチして、録画を開始します。

MC40 がビデオの録画を開始します。ビデオの残り時間が画面の左下に表示されます。残り 1 分以内になると、カウントダウンが赤色に変わります。

6.  をタッチして、録画を終了します。






✓ **注** 以前に録画したビデオは右上のサムネイルに表示されます。

7. サムネイルにタッチすると、[ギャラリー] アプリケーションにアクセスします。

ビデオの設定

次のビデオ設定コントロールが画面に表示されます。

- [設定] - タッチすると、次の設定が表示されたスクローリング リストが開きます。
- [色効果] - 特殊効果を選択します。オプション: [なし] (デフォルト)、[セピア]、[ネガ]、[露光過度]、[アクア]、[赤強調]、[青強調]、または [緑強調]。
- [カメラ設定] - [初期設定に戻す] をタッチすると、設定が初期設定値に戻ります。

- [ホワイトバランス]- タッチして、ビデオの色調が最も自然になるように、光りの加減に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
 -  [自動]- ホワイトバランスを自動的に調整します (デフォルト)。
 -  [白熱灯]- 白熱灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
 -  [昼光]- 昼光に適するようにホワイトバランスを調整します。
 -  [蛍光灯]- 蛍光灯に適するようにホワイトバランスを調整します。
 -  [曇り]- 曇天の環境に適するようにホワイトバランスを調整します。
- [ビデオ画質]- タッチして、次のビデオ画質を選択します。
 - 高 (30 分)- 高画質ビデオ最長 30 分。
 - 低 (30 分)- 低画質ビデオ最長 30 分。
 - MMS (低、30 秒)- 低画質ビデオ最長 30 秒 (テキストメッセージへの添付用)。
 - YouTube (高、10 分)- 高画質ビデオ 10 分 (YouTube への投稿用)。



写真やビデオの表示

- ✓ 注 MC40 では、jpeg、gif、png、および bmp の画像形式がサポートされています。
MC40 では、H.263、H.264、および MPEG4 シングル プロファイルのビデオ形式がサポートされています。

[ギャラリー] を使用して、次を行えます。

- 写真を表示する
- ビデオを再生する
- 写真の基本編集を行う
- 壁紙として写真を設定する
- 連絡先用の写真として写真を設定する
- 写真やビデオを共有する

[ギャラリー] アプリケーションを開くには、次の手順に従います。

-  > [ギャラリー] をタッチします。
- [カメラ] アプリケーションで、右上のサムネイル画像をタッチします。
- [カメラ] アプリケーションで、 > [ギャラリー] をタッチします。

[ギャラリー] には、オンデバイスストレージに保存されたすべての写真とビデオがアルバムで表示されます。

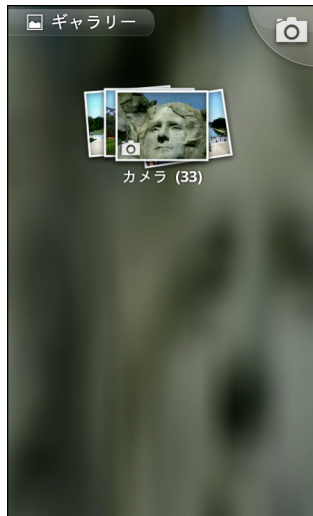


図 6-3 【ギャラリー】- アルバム

- アルバムにタッチすると、アルバムが開き、コンテンツが表示されます。アルバム内の写真とビデオは時系列で表示されます。[6-6 ページの「アルバムの処理」](#)を参照してください。
- アルバムに2本の指でタッチして指を離すと、アルバムの中をのぞくことができます。
- アルバム内の写真かビデオにタッチすると、それが表示されます。
- [ギャラリー]アイコン(左上隅)をタッチすると、メインの【ギャラリー】画面に戻ります。

アルバムの処理

アルバムには、画像やビデオがフォルダに分類されています。アルバムにタッチして、開きます。写真やビデオは時系列のグリッド表示でリストされます。アルバムの名前は画面の上部に表示されます。

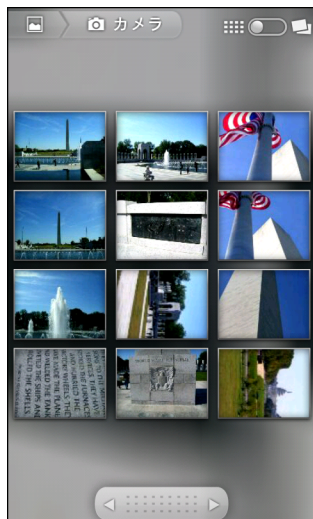


図 6-4 アルバム内の写真

画面の下部にあるスクロール ツールの矢印をタッチして画面内の画像をスクロールしたり、スクロール ツールを左右にドラッグしてスクロール速度を調整したりします。表示している画像の日付が、日付ごとにスクロールして表示されます。

左右にスワイプすると、さらに画像が表示されます。

アルバム コンテンツの表示方法の変更

撮影された日付や場所ごとに分類して、アルバム内の写真やビデオを時系列のグリッド形式やスタック形式で表示します。アルバム表示を切り替えるには、画面の右上にある [アルバムの表示] スイッチを使用します。アルバムのコンテンツをスタック形式で表示するには、[アルバムの表示] スイッチを右にドラッグします。

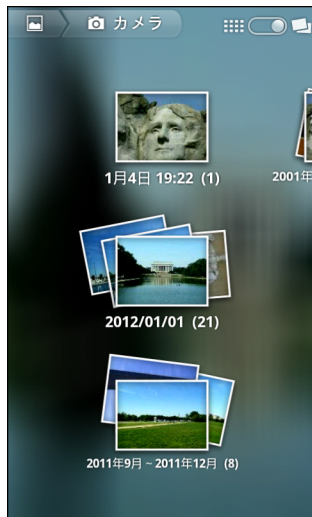



図 6-5 スタック ビュー



アルバムのコンテンツを時系列のグリッド形式で表示するには、[アルバムの表示] スイッチを左にドラッグします。

アルバム全体や個々の写真を処理するほかに、アルバム内の 1 つまたは複数の写真またはビデオを選択し、それらを一括処理することもできます。

1. アルバムを開いて、写真とビデオを表示します。
2.  を 2 回タッチします。
3. 項目にチェックマークを付けたり、外したりして、処理する項目を選択します。チェックマークが付けられた項目のチェックマークを外すには、ウィンドウの右上にある [すべて選択解除] をタッチします。
4. 詳細情報を共有、削除、または取得するには、画面下部のコントロールを使用します。



アルバムの共有

1 つ以上のアルバムのコンテンツ全体を共有するには、次の手順に従います。

1.  > [ギャラリー] をタッチします。
2.  を 2 回タッチします。
3. チェックマークを付けたり、外したりして、共有するアルバムを選択します。
4. [共有] をタッチします。[共有] メニューが開きます。選択したアルバムを共有するために使用するアプリケーションをタッチします。
5. 選択したアプリケーションの指示に従います。



アルバム情報の取得

アルバムの情報を取得するには、次の手順に従います。

1.  > [ギャラリー] をタッチします。
2.  を 2 回タッチします。
3. アルバムにチェックマークを付けます。
4. [詳細] をタッチします。[詳細] メニューが表示されます。[詳細情報] をタッチします。

アルバムの削除

オンデバイスストレージからアルバムとそのコンテンツを削除するには、次の手順に従います。

1.  > [ギャラリー] をタッチします。
2.  を 2 回タッチします。
3. 削除するアルバムにチェックマークを付けます。他のアルバムにチェックマークを付けないように注意してください。
4. [削除] をタッチします。[削除] メニューが表示されます。
5. [削除の確認] をタッチして、アルバムを削除します。

写真の処理

[ギャラリー] を使用して、オンデバイスストレージ内の写真を表示し、写真の編集および共有を行います。

写真の表示およびブラウズ

写真を表示するには、次の手順に従います。


1.  > [ギャラリー] をタッチします。
2. アルバムにタッチして、開きます。
3. 写真をタッチします。



図 6-6 写真の例

アルバム内の次の写真または前の写真を表示するには、左または右にドラッグします。

- MC40 を回転させると、写真が縦向き (ポートレート) または横向き (風景) で表示されます。写真は新しい向きで表示されます (保存は行われません)。

写真をタッチすると、コントロールが表示されます。

画面をダブルタップしてズームインするか、2本の指を画面において指の間隔を狭めたり、離したりして、ズームインやズームアウトを行います。

写真の見えない部分を表示するには、写真をドラッグします。

スライドショー

スライドショーを表示するには、次の手順に従います。

1. 写真をタッチして、コントロールを表示します。
2. [スライドショー] をタッチします。アルバム内の写真が表示されます。
3. 写真をタッチすると、スライドショーが終了します。

写真の回転

写真を回転するには、次の手順に従います。

1. 写真をタッチして、コントロールを表示します。
2. [メニュー] > [詳細] をタッチします。[詳細] メニューが表示されます。
3. [左に回転] または [右に回転] をタッチします。写真は新しい方向で自動的に保存されます。

写真のトリミング

写真をトリミングするには、次の手順に従います。

1. 写真をタッチして、コントロールを表示します。
2. [メニュー] > [詳細] をタッチします。

3. **[トリミング]** をタッチします。オレンジのトリミング ツールが表示されます。
4. トリミング ツールを使用して、写真をトリミングする部分を選択します。
 - トリミング ツールの内側からドラッグすると、トリミング部分が移動します。
 - トリミング ツールの縁をドラッグすると、トリミング部分が任意の比率でサイズ変更されます。
 - トリミング ツールの角をドラッグすると、トリミング部分が一定の比率でサイズ変更されます。

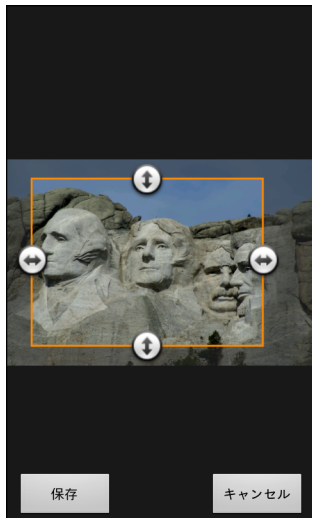


図 6-7 トリミング ツール

5. **[保存]** をタッチして、トリミングした写真のコピーを保存します。元のバージョンは保持されます。

連絡先アイコンとしての写真の使用

写真を連絡先アイコンとして使用するには、次の手順に従います。

1. 写真をタッチすると、コントロールが表示されます。
2. **[メニュー]** > **[詳細]** > **[次に設定]** をタッチします。
3. **[連絡先アイコン]** をタッチします。連絡先のリストが表示されます。
4. 連絡先をタッチします。
5. オレンジ色のボックスをタッチし、写真を適切にトリミングします。
6. **[保存]** をタッチします。

写真を壁紙として設定する

写真を壁紙として使用するには、次の手順に従います。

1. 写真をタッチすると、コントロールが表示されます。
2. **[メニュー]** > **[詳細]** > **[次に設定]** をタッチします。
3. **[壁紙]** をタッチします。オレンジのトリミング ツールが表示されます。
4. トリミング ツールを使用して、写真をトリミングする部分を選択します。
 - トリミング ツールの内側からドラッグすると、トリミング部分が移動します。

- トリミング ツールの縁をドラッグすると、トリミング部分が任意の比率でサイズ変更されます。
- トリミング ツールの角をドラッグすると、トリミング部分が一定の比率でサイズ変更されます。

5. **[保存]** をタッチします。

写真情報の取得

写真についての情報を取得するには、次の手順に従います。

1. 写真をタッチすると、コントロールが表示されます。
2. **[メニュー]** > **[詳細]** をタッチします。**[詳細]** メニューが表示されます。
3. **[詳細情報]** をタッチします。

写真の共有

写真を共有するには、次の手順に従います。

1. 写真をタッチして、コントロールを表示します。
2. **[メニュー]** > **[共有]** をタッチします。**[共有]** メニューが表示されます。
3. 選択した写真を共有するために使用するアプリケーションをタッチします。
選択したアプリケーションが開き、新しいメッセージに写真が添付されます。

写真の削除

写真を削除するには、次の手順に従います。

1. 写真をタッチして、コントロールを表示します。
2. **[メニュー]** > **[削除]** をタッチします。**[削除]** メニューが表示されます。
3. **[削除の確認]** をタッチして、写真を削除します。

ビデオの処理

[ギャラリー] を使用して、オンデバイス ストレージに保存されているビデオを再生します。

ビデオを再生するには、次の手順に従います。


1.  > **[ギャラリー]** をタッチします。
2. **[ギャラリー]** のアルバムを開き、ビデオをタッチします。
3. ビデオが再生されます。




図 6-8 ビデオの再生

画面をタッチすると、再生コントロールが表示されます。


電子メールでのビデオの送信

電子メールを使用してビデオを送信するには、次の手順に従います。

1. アルバムが表示されている間に、 を 2 回タッチします。
2. 共有するビデオにチェックマークを付けます。
3. **[共有]** をタッチします。
4. **[共有]** メニューで、**[電子メール]** をタッチします。電子メールが開き、新しいメッセージにビデオが添付されます。

ビデオの削除

ビデオを削除するには、次の手順に従います。

1. アルバムが表示されている間に、 を 2 回タッチします。
2. 削除するビデオにチェックマークを付けます。
3. **[削除]** をタッチします。
4. **[削除の確認]** をタッチします。

第7章 アクセサリ

はじめに

表 7-1 に、MC40 のアクセサリを示します。

表 7-1 MC40 のアクセサリ

アクセサリ	部品番号	説明
クレードル		
シングル スロット 充電専用クレードル	CRDMC40XX-1000R	MC40 を充電します。
5 スロット ユニバーサル充電専用クレードルベース	CRDUNIV-XX-5000R	最大で 5 台の MC40 デバイス、またはオプションの充電キャップを使用して 4 台の MC40 デバイスと 1 台の 4 スロット バッテリー充電器を同時に充電します。この場合は、追加の電源が必要となります。
5 スロット ユニバーサル充電専用クレードル	CRDUNIV-40-5000R	最大で 5 台の MC40 デバイスを同時に充電します。
充電器		
4 スロット バッテリー充電器	SACMC40XX-4000R	最大 4 個の MC40 バッテリーを同時に充電します。
電源アダプタ	PWRS-124306-01R	MC40 とシングル スロット 充電クレードルに電力を供給します。
電源 (12VDC、4.16A)	PWRS-14000-148C	5 スロット ユニバーサル充電専用クレードルと 4 スロット バッテリー充電器に電力を供給します。
ケーブル		
マイクロ USB ケーブル	25-MCXUSB-01R	MC40 に電力を供給し、USB 接続経由でホストコンピュータと通信します。

表 7-1 MC40 のアクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
US AC 電源コード (3 ワイヤ)	23844-00-00R	電源に電力を供給します。
2 股 DC ケーブル	25-122026-02R	1 つの電源 (PWRS-14000-148C) を 2 台の 4 スロット バッテリー充電器に接続します。
4 股 DC ケーブル	25-85992-01R	1 つの電源 (PWRS-14000-241R) を 4 台の 4 スロット バッテリー充電器に接続します。
その他		
予備の 2680mAh リチ ウム イオン バッテリ	BTRY-MC40EAB0E-01R BTRY-MC40EAB0E-01R	交換用 2680mAh バッテリ。 交換用 2680mAh バッテリ (10 個組)
充電キャップ	CUPMC40XX-1000R	5 スロット ユニバーサル充電専用クレードル ベース に設置して、MC40 に充電スロットを提供します (1 個組)。
バッテリー充電器 キャップ	CUPUNIBTRY-1000R	5 スロット ユニバーサル充電専用クレードル ベース に装着して、4 スロット バッテリー充電器にマウントを 提供します。
ユニバーサル ブランク スロット カバー	CUPUNICVR-5000R	5 スロット ユニバーサル充電専用クレードルに装着し て、キャップが不要なときにスロットをカバーします (5 個組)。
保護用ゴム製ブーツ	SG-MC40-RBOOT-10R	MC40 に追加の保護を提供します。
	SG-MC40-RBOOT-10R	MSR 付きの MC40 に追加の保護を提供します。
ソフト ヒップ ホルスタ	SG-MC40HLSTR-01R	ベルトに装着して、MC40 のストレージを提供します。
フィンガーストラップ アセンブリ	SG-MC40STRAP-01R SG-MC40STRAP-10R	MC40 の背面に設置して、デバイスを安全に保持しま す (1 個組または 10 個組)。
ラック / 壁取り付け ブラケット	KT-UNIVLBRKT-01R	5 スロット充電専用クレードルを標準ラックまたは壁 に取り付けます。
ラック / 壁棚	KT-UNIVLSHLF-01R	ラック / 壁取り付けブラケットに取り付けます。複数 の充電器が必要な場合に使用します。
有線モノラルヘッド セット	21-SB1X-HDSET2-01R	PTT 通信で使用します。

マイクロ USB ケーブル

マイクロ USB ケーブルは、MC40 の充電やホスト コンピュータとの通信に使用します。

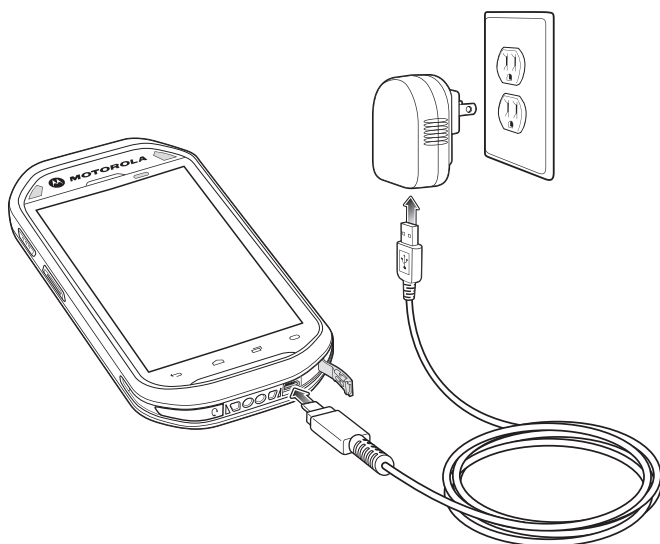


図 7-1 マイクロ USB ケーブルを使用した充電

インタフェース

マイクロ USB ケーブルを使用して MC40 がホスト コンピュータを接続されている場合、MC40 はホスト コンピュータ上で取り外し可能なディスクとして表示されます。詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

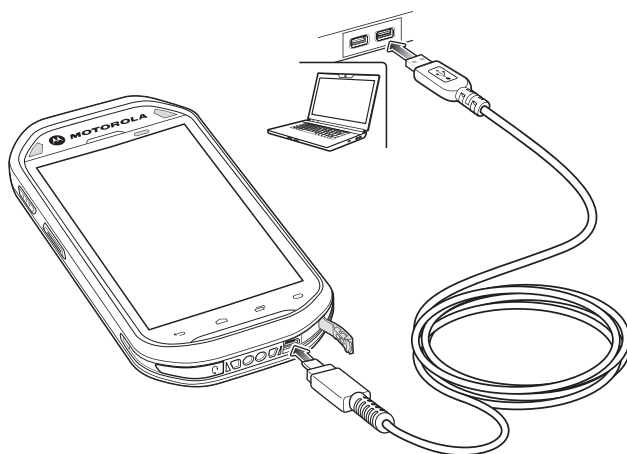


図 7-2 マイクロ USB ケーブルを使用した通信

シングル スロット 充電 クレードル

シングル スロット 充電 クレードルは、MC40 とバッテリーの充電用に DC 5 V の電源を供給します。

- ✓ **注** マイクロ USB ケーブルをシングル スロット 充電 クレードルからホスト コンピュータの USB ポートに接続しないでください。ホスト コンピュータに接続されると、クレードルは MC40 を充電できません。

MC40 のバッテリーの充電

クレードルを電源に接続します。スロットに MC40 を挿入すると充電が開始します。

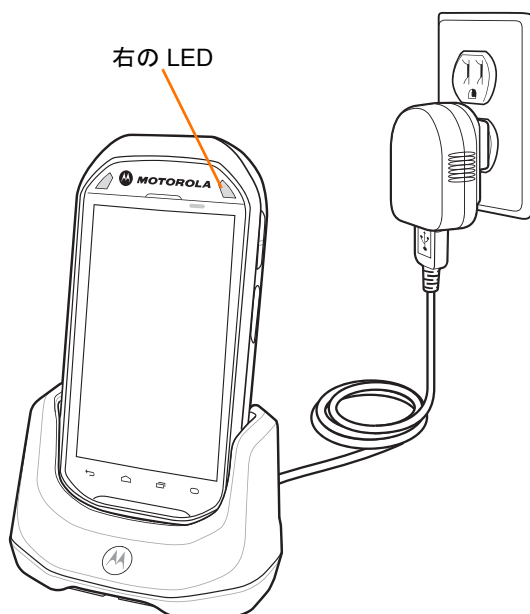


図 7-3 MC40 のバッテリーの充電

MC40 の充電器にあるバッテリー充電発光ダイオード (LED) は、MC40 でのバッテリー充電の状態を示します。充電の状態の表示については、[1-5 ページの表 1-2](#) を参照してください。2680mAh バッテリーは、約 4 時間で充電が完了します。

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC40 によって精密に制御されています。温度制御を行うため、MC40 やアクセサリは、バッテリーの充電状態を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。MC40 は、異常な温度のために充電を行えなくなると、バッテリー充電 LED でそれを示します。[1-5 ページの表 1-2](#) を参照してください。

5 スロット ユニバーサル充電専用クレードル

5 スロット ユニバーサル充電専用クレードル:

- MC40 の操作に必要な DC 5 V の電力を供給します。
- 最大5台の MC40 を同時に充電します。
- クレードル ベースと、さまざまな充電要件に合わせて設定できるオプションのキャップで構成されます。
- 4 スロット バッテリー充電器 (個別の電源が必要) のマウントを提供します。

設定と構成の指示については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。

MC40 を充電するには、MC40 を空いているスロットに挿入します。

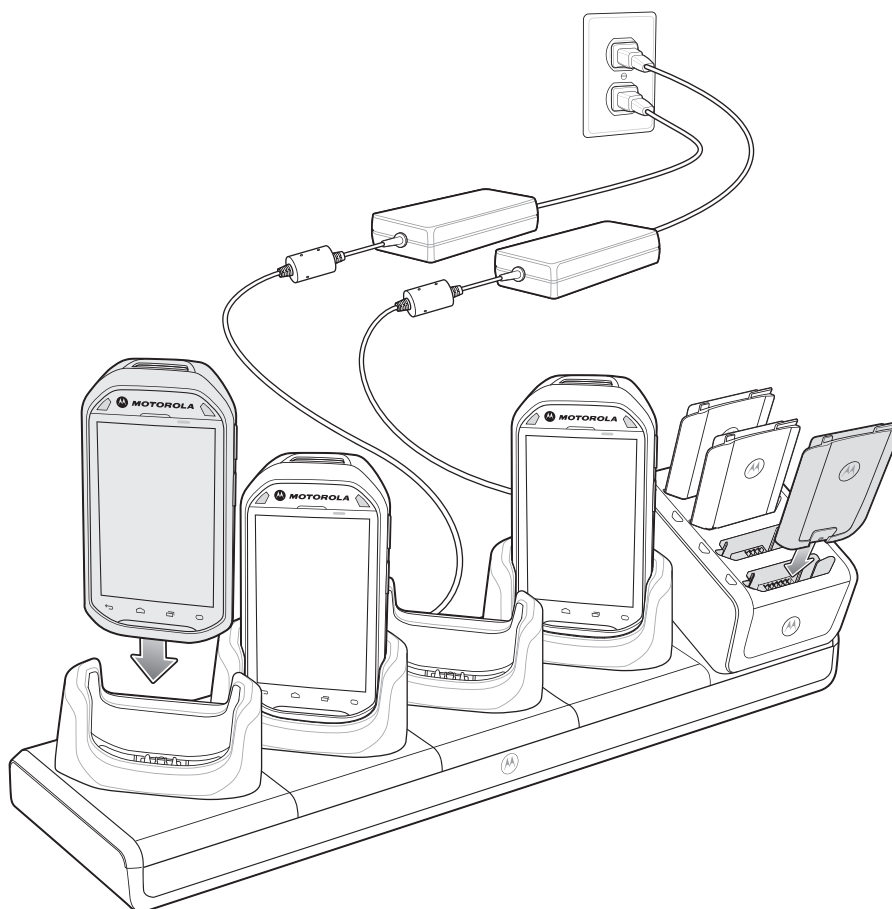


図 7-4 MC40 と予備バッテリーの充電

MC40 の右側の LED は、バッテリー充電のステータスを示します。充電の状態の表示については、[1-5 ページの表 1-2](#)を参照してください。2680mAh バッテリーは、約 4 時間で充電が完了します。

予備バッテリーを充電するには、バッテリーを 4 スロット バッテリー充電器に設置します。予備バッテリーの充電については、[7-6 ページの「4 スロット バッテリー充電器」](#)を参照してください。

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC40 によって精密に制御されています。温度制御を行うため、MC40 やアクセサリは、バッテリーの充電状態を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。MC40 は、異常な温度のために充電を行えなくなると、バッテリー充電 LED でそれを示します。[1-5 ページの表 1-2](#)を参照してください。

4 スロット バッテリー充電器

4 スロット バッテリー充電器には、次のような機能があります。

- バッテリーの充電に必要な 12VDC の電力を供給します。
- 最大 4 台の MC40 バッテリーを同時に充電します。

予備バッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. 電源に充電器を接続します。
2. バッテリーをバッテリー受けに差し込み、バッテリーをゆっくり押し下げて正しく接触するようにします。

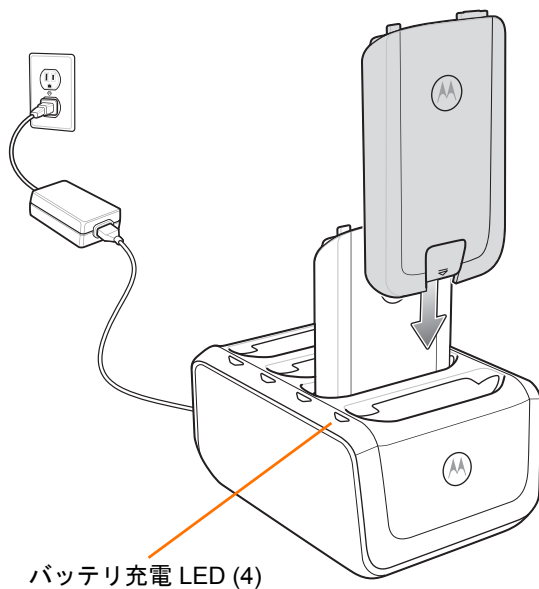


図 7-5 4 スロット バッテリー充電器

4 スロット バッテリー充電器には黄色のバッテリー充電 LED が 4 つあり、それぞれのバッテリー受けに 1 つずつあります。充電の状態の表示については、[表 7-2](#) を参照してください。2680mAh バッテリーは、約 4 時間で充電が完了します。

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC40 によって精密に制御されています。温度の制御を実現するため、充電器がバッテリーの充電を交互に有効にしたり無効にしたりして、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になったときは、充電器の LED でそれを示します。[表 7-2](#) を参照してください。

表 7-2 バッテリー LED の充電インジケータ

LED	意味
消灯	スロットにバッテリーがありません。 バッテリーが充電されません。 バッテリーが充電器に正しく挿入されていません。 充電器に電力が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅	バッテリーが充電中です。
緑色の点灯	充電が完了しました。
黄色で速く点滅	充電エラーです。 <ul style="list-style-type: none">• 温度が高すぎるか低すぎます。• 充電完了までの時間が長すぎます。

第 8 章 メンテナンスとトラブルシューティング

はじめに

この章では、MC40 のクリーニングと保管方法、および MC40 の操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。

MC40 のメンテナンス

トラブルを避けるため、MC40 の使用中は次の注意事項を守ってください。

- MC40 の画面を引っかかないでください。MC40 で作業するときは、指だけを使用してください。MC40 の画面の表面で、実際のペンや鉛筆、タッチペン、その他の鋭いものを使用しないでください。
- MC40 のタッチスクリーンはガラス製です。MC40 を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- MC40 は極度の高温または低温にさらさないでください。暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、熱源のそばに置いたりしないでください。
- ほこりや湿気が極端に多い場所では、MC40 の保管や利用を避けてください。
- MC40 をクリーニングする場合は、レンズ用の柔らかい布を使用してください。MC40 のディスプレイが汚れた場合は、柔らかい布に薄めた窓ガラス洗剤を湿らせてクリーニングします。
- バッテリーの寿命と製品の性能を最大限に活用するために、充電式バッテリーは定期的に交換してください。バッテリーの寿命は、ユーザーの利用状況によって異なります。

バッテリーの安全に関するガイドライン

- 機器を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質および薬品を置かないでください。業務環境以外で機器を充電する場合は、特に細心の注意を払ってください。
- バッテリーの使用、保管、および充電については、このガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。

- モバイル デバイス バッテリーを充電する場合は、バッテリーと充電器の温度を、0°C ~ +40°C (32°F ~ 104°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーおよび充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れ、またはその他の事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご質問のある場合は、Motorola Solutions Global Customer Support Center (Motorola Solutions グローバルカスタマ サポート センター) にお問い合わせください。
- USB ポートを充電用の電源として利用する機器は、USB-IF のロゴのある製品か、USB-IF コンプライアンス プログラムで認証された製品のみ接続することができます。
- 分解または外殻を開くこと、粉碎、屈曲または変形、穿孔、もしくは切断を行わないでください。
- バッテリー駆動式の機器を硬い地面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリー ターミナルに接触させたりしないでください。
- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体への浸漬または暴露、または火、爆発あるいはその他の危険物への暴露を行わないでください。
- 駐車中の車両内、またはラジエータやその他の熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れしないでください。
- 児童がバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。
- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に適切に従って廃棄してください。
- バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。
- バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合は、接触部位を大量の水で洗い流し医師の診断を受けてください。
- 機器またはバッテリーが破損した恐れがある場合は、Motorola Solutions Global Customer Support Center (Motorola Solutions グローバルカスタマ サポート センター) に検査を依頼してください。

クリーニング



注意

必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、圧縮空気とアルコールに関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合は、Motorola に詳細をお問い合わせください。



警告

高温の油やその他の可燃性の液体に製品を触れさせないでください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従って直ちに製品をクリーニングしてください。

使用可能な洗剤の活性成分

どのような洗剤であってもその活性成分は、イソプロピル アルコール、漂白剤/次亜塩素酸ナトリウム、過酸化水素、中性食器洗剤のいずれか、またはこれらの組み合わせのみで構成されている必要があります。

有害成分

化学薬品の中には、MC40 の樹脂部分を冒すことが判明しているために、デバイスに接触しないような配慮が必要な場合があります。このような化学薬品として、アンモニア溶液、アミンまたはアンモニアの化合物、アセトン、ケトン、エーテル、芳香族炭化水素および塩素化炭化水素、アルカリのアルコール溶液または水溶液、エタノールアミン、トルエン、トリクロロエチレン、ベンゼン、石炭酸、および TB- リゾフォルムがあります。

クリーニング方法

MC40 に液体を直接塗布しないでください。柔らかい布にしみ込ませて使用するか、ウェット ティッシュを使用してください。布やウェット ティッシュにデバイスをくるまず、力を入れずにゆっくりと表面を拭きます。ディスプレイの周辺などに液体がたまらないように注意してください。デバイスは、自然乾燥させてから使用してください。

クリーニングの際の注意事項

多くのビニール製手袋には、医療用途にはお勧めできないフタレート系の添加剤が含有されており、MC40 の筐体には有害であることがわかっています。フタレートを含有する手袋を着用して MC40 を扱わないようにしてください。また、手袋を外した後は、手を洗って汚染残留物を除去してから MC40 を扱ってください。MC40 を扱う前に、エタノールアミンを含有する除菌ローションなど、上記の有害成分を含有する製品を使用していた場合は、樹脂部の損傷を防止するために、手を完全に乾燥させてから MC40 を扱うようにしてください。

必要な材料

- アルコール脱脂綿
- レンズ用ティッシュ ペーパー
- 綿棒
- イソプロピル アルコール
- 管つき圧縮空気の缶

MC40 のクリーニング

筐体

アルコール脱脂綿で筐体を拭きます。キーやキーの間の部分も拭きます。

ディスプレイ

ディスプレイはアルコール脱脂綿で拭いてもかまいません。ただし、ディスプレイの端の周囲に液体がたまらないように注意してください。すぐに柔らかい布でディスプレイを乾かします。このとき、傷が付かないよう、目の粗い布は使わないでください。

スキャナ ウィンドウとカメラ ウィンドウ

レンズ用ティッシュ ペーパーまたはメガネなど光学材料のクリーニングに適した用具で、定期的にスキャナ ウィンドウやカメラ ウィンドウを拭いてください。

コネクタ

1. モバイルコンピュータからメインバッテリーを取り外します。1-6 ページの「バッテリーの交換」を参照してください。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、MC40 の下部のコネクタ部分を軽くこすります。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. これを 3 回以上繰り返します。
5. アルコールに浸した綿棒で、コネクタ部付近の油分や埃を拭き取ります。
6. 乾いた綿棒で、ステップ 3 ~ 5 を繰り返します。



注意 ノズルを自分や他の人に向けしないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

7. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。
8. コネクタ部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。

クレードルのコネクタのクリーニング

クレードルのコネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. クレードルから DC 電源ケーブルを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタのピンに沿って拭きます。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を往復させます。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. コネクタの前面も、綿棒で拭く必要があります。



注意 ノズルを自分や他の人に向けしないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

5. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。
6. 綿棒のコットンの屑をすべて取り除きます。
7. クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合は、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除きます。
8. アルコールが蒸発するまで 10 ~ 30 分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、クレードルに電源をつないでください。

気温が低く湿度が高い場合は、長い乾燥時間が必要となります。気温が高く湿度が低い場合は、乾燥時間が短くて済みます。

クリーニングの頻度

モバイル デバイスが使用される環境がそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はユーザーが判断してください。クリーニングは必要に応じて行えますが、パフォーマンスを最適に保つために、埃の多い環境で使用した場合は、カメラ ウィンドウを定期的にクリーニングすることをお勧めします。




トラブルシューティング

MC40

表 8-1 MC40 のトラブルシューティング

問題	要因	ソリューション
電源ボタンを押しても、MC40 がオンにならない。	バッテリーが完全に放電されている。	バッテリーをもう一度充電するか、交換します。
	バッテリーが適切に取り付けられていない。	バッテリーを適切に取り付けます。 1-4 ページの「バッテリーの取り付け」 を参照してください。
	電源ボタンを押す時間が十分ではない。	赤い LED が点滅するまで、電源ボタンを押します。
	MC40 が反応しない。	リセットします。 2-18 ページの「MC40 のリセット」 を参照してください。
電源ボタンを押しても MC40 がオンにならないが、デコード LED が黄色に点滅する。	バッテリーの充電レベルが非常に低い。	バッテリーをもう一度充電するか、交換します。
バッテリーが充電されない。	バッテリーに問題がある。	バッテリーを交換してください。それでも MC40 が動作しない場合は、ハードウェア リセットを行います。 2-18 ページの「MC40 のリセット」 を参照してください。
	バッテリーの充電中に、MC40 がクレードルから取り外された。	MC40 をクレードルに差し込みます。2680mAh バッテリーは 4 時間以内にフル充電が完了します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。
データ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	通信中に MC40 がホスト コンピュータから取り外された。	マイクロ USB ケーブルを再度取り付けて、再送信します。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
音が鳴らない。	音量設定が低いかオフになっている。	音量を調整します。

表 8-1 MC40 のトラブルシューティング (続き)

問題	要因	ソリューション
MC40 がオフになる。	MC40 が非アクティブになっている。	ディスプレイは一定の時間非アクティブになっていると電源がオフになります。この時間を、15 秒、30 秒、1 分、2 分、10 分、または 30 分に設定します。
	バッテリーが完全に放電してある。	バッテリーをもう一度充電するか、交換します。
ストレージのメモリが不十分であることを示すメッセージが表示される。	MC40 にインストールされているアプリケーションが多すぎる。	ユーザーが MC40 にインストールしたアプリケーションを削除し、メモリを復元します。  > [設定] > [アプリケーション] > [アプリケーションの管理] を選択します。使用していないプログラムを選択して、[アンインストール] をタッチします。
バーコードの読み取り時に、MC40 が読み取れない。	DataWedge が有効になっていない。	DataWedge を有効にして、適切に設定します。詳細については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。
	バーコードを読み取れない。	コードに汚れがないことを確認します。
	MC40 とバーコードとの距離が適切ではない。	MC40 を正しいスキャン範囲に置きます。
	MC40 が特定のバーコードタイプを読み取れるようにプログラムされていない。	スキャンするバーコードに対応するように、MC40 を設定します。DataWedge の設定については、『MC40 Integrator Guide』を参照してください。
	MC40 がビープ音を鳴らすように設定されていない。	正しく読み取ったときに MC40 がビープ音を鳴らさない場合は、正しく読み取ったときにビープ音を鳴らすようにアプリケーションを設定します。
MC40 が近くの Bluetooth デバイスを検出できない。	他の Bluetooth デバイスから遠すぎる。	他の Bluetooth デバイスから 10 m (30 フィート) 以内に MC40 を近づけます。
	近くの Bluetooth デバイスの電源がオンになっていない。	検出するには、近くの Bluetooth デバイスの電源をオンにします。
	Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていない。	Bluetooth デバイスを検出可能なモードに設定します。必要に応じて、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
MC40 が磁気ストライプカードを読み取らない。	カードの磁気ストライプが誤った方向を向いている。	磁気ストライプカードの方向が正しいことを確認します。カードの磁気ストライプをディスプレイに向ける必要があります。
WLAN に接続できない。	アクセスポイント (AP) が国コードのブロードキャストを行いません。	IEEE 802.11d の障害  > [設定] > [無線/ネットワーク] > [Wi-Fi の設定] をタッチします。  > [詳細設定] をタッチします。[802.11d を有効にする] チェックボックスの選択を解除します。

シングル スロット 充電 クレードル

表 8-2 シングル スロット 充電 クレードルのトラブルシューティング

症状	要因	アクション
MC40 バッテリーが充電されない。	MC40 をクレードルから抜くのが早すぎたか、クレードルを AC 電源から抜くのが早すぎた。	クレードルに電力が供給されていることを確認します。MC40 が正しくセットされていることを確認します。バッテリーが充電中であることを確認します。2680mAh バッテリーは、約 4 時間で充電が完了します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC40 がクレードルに完全にセットされていない。	EMC40 をクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。

5 スロット ユニバーサル 充電 専用 クレードル

表 8-3 5 スロット ユニバーサル 充電 専用 クレードルのトラブルシューティング

症状	要因	ソリューション
MC40 バッテリーが充電されない。	クレードルから MC40 を取り外すのが早すぎた。	MC40 をクレードルに差し込み直します。2680mAh バッテリーは、約 4 時間で充電が完了します。☑️ > [設定] > [デバイス情報] > [ステータス] をタップして、バッテリーの状態を表示します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC40 がクレードルに正しく挿入されていません。	MC40 を取り外して正しく差し込み直します。充電がアクティブになっていることを確認します。☑️ > [設定] > [デバイス情報] > [ステータス] をタップして、バッテリーの状態を表示します。
	クレードルの周辺温度が高すぎる。	クレードルを、周辺温度が 0 ~ 35°C の場所に移動します。
予備バッテリーが 4 スロット バッテリー 充電器で充電されない。	4 スロット バッテリー 充電器の電源が入らない。	4 スロット バッテリー 充電器には、別に電源が必要となります。正しい電源を確保して、充電器に接続します。

4 スロット バッテリー充電器

表 8-4 4 スロット バッテリー充電器のトラブルシューティング

症状	要因	アクション
バッテリーが充電されない。	バッテリーを充電器から取り外したり、充電器を AC 電源から抜くのが早すぎた。	バッテリーを充電器に差し込み直すか、充電器の電源を接続し直します。2680mAh バッテリーは、約 4 時間で充電が完了します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	バッテリーの端子が充電器に接続されていない。	バッテリーが、端子を下にしてバッテリー受けに正しくセットされていることを確認します。

付録 A 技術仕様

MC40 技術仕様

次の表に、MC40 の設計動作環境とハードウェアの技術仕様を示します。

表 A-1 MC40 技術仕様

各部の名称	説明
物理的特性	
寸法	高さ: 143.9mm (5.66 インチ) 幅: 72.8mm (2.87 インチ) MSR 無し: 奥行き: 20.1mm (0.79 インチ) MSR 有り: 奥行き: 31.8mm (1.25 インチ)
重量	MSR 無し: 257.7g (9.09 オンス) MSR 有り: 266.1g (9.38 オンス)
ディスプレイ	4.3 インチ キャパシティブ、480 x 800、300 ニト
タッチ パネル	デュアル タッチ可能
バックライト	LED バックライト
バッテリー	充電式リチウム イオン バッテリー 3.7V、2680mAh 高性能バッテリー
バックアップ バッテリー	NiMH バッテリー (充電式) 15mAh 3.6V (ユーザー アクセス不可)。
接続性	1 つの USB 2.0 OTG コネクタ
通知	LED、オーディオ、およびバイブレーション
キーパッド オプション	画面キーボード
オーディオ	スピーカー、マイクロフォン、およびヘッドセット コネクタ (モノ、マイクロフォン付き 2.5mm ジャック) Bluetooth ステレオ ヘッドセットによるステレオ オーディオ

表 A-1 MC40 技術仕様 (続き)

各部の名称	説明
性能特性	
CPU	Texas Instruments OMAP 4430 @ 800MHz、デュアルコア
オペレーティングシステム	Android ベースの ASOP 2.3
メモリ	1GB RAM、8GB フラッシュ
出力 (USB)	ドッキングコネクタ: 5VDC @ 500mA (最大)
ユーザー環境	
動作温度	0°C ~ 50°C
保管温度	-40°C ~ 70°C
充電温度	0°C ~ 40°C
湿度	5 ~ 85% (結露なきこと)
耐落下衝撃性能:	1.2m (4 フィート) の高さからベニヤ板に複数回落下 (MIL-STD 810G 仕様に準拠) 0.9m (3 フィート) の高さから複数回落下
静電気放電 (ESD)	± 15kVdc 大気放電、± 8kVdc 直接放電、± 2kVdc 間接放電
シーリング	IP54
無線 LAN データ通信	
無線 LAN (WLAN) 通信	IEEE® 802.11a/b/g/n (内蔵アンテナ)
サポートされるデータ速度	802.11b: 1、2、5.5、11Mbps 802.11a/g: 6、9、12、18、24、36、48、54Mbps 802.11n: 6.5、13、19.5、26、39、52、58.5、65Mbps 802.11n データレートでは速すぎる可能性あり
動作チャンネル	チャンネル 36 ~ 165 (5180 ~ 5825MHz)、チャンネル 1 ~ 13 (2412 ~ 2472MHz)。実際の動作周波数は、各地の規制および承認機関により異なります。
セキュリティ	セキュリティモード: 従来式、WPA、および WPA2 暗号化: WEP (40 および 128 ビット)、TKIP、および AES 認証: TLS、TTLS (MSCHAP)、TTLS (MSCHAPV2)、TTLS (PAP)、PEAP (MSCHAPV2)、PEAP (GTC)、FAST (MSCHAPV2)、FAST (GTC)、LEAP
通信方式	直接スペクトラム拡散方式 (DSSS) および直交周波数分割多重方式 (OFDM)
ワイヤレス PAN データおよび音声通信	
Bluetooth	Class II、v 2.1 EDR。内蔵アンテナ

表 A-1 MC40 技術仕様 (続き)

各部の名称	説明
データ収集	
イメージャ	1D および 2D バーコードを収集します。
背面カメラ	バーコード スキャンと画像の読み取り: 8MP オートフォーカス カメラと照準合わせ、1D および 2D バーコード、写真、動画、署名、および文書を読み込み可能。
磁気ストライプリーダー	磁気ストライプカードからデータを読み取ります。
センサー	
モーションセンサー	スクリーンの向きの動的変更および電源管理を可能にする、3軸式加速度計を利用した運動センサー機能を装備。
周辺光/近接センサー	表示の輝度を自動的に調整して、PTT 通話中にディスプレイをオフにします。
イメージャ (SE4500-DL) の仕様	
読み取り幅	水平 - 39.2° 垂直 - 25.4°
光学分解能	WVGA 752 (縦) x 480 (横) ピクセル (グレー スケール)
回転	360°
ピッチ	±60°
スキュー	±60°
周辺光	室内照明: 450 フィート カンデラ (4845 ルクス) 屋外自然光: 9000 フィート カンデラ (96,900 ルクス) 直射日光: 8,000 フィート カンデラ 蛍光灯: 450 フィート カンデラ
焦点範囲	スキャナ ウィンドウの中心から: 18.5cm (7.3 インチ)
照準光源波長 (VLD)	655nm ± 10nm
発光光源波長 (LED)	625nm ± 5nm

表 A-2 データ収集オプション

各部の名称	説明		
1D バーコード	Chinese 2 of 5	Codabar	Code 11
	Code 128	Code 39	Code 93
	Discrete 2 of 5	MSI	EAN-8
	EAN-13	GS1 DataBar	GS1 DataBar 14
	GS1 DataBar Expanded	GS1 DataBar Expanded Stacked	
	GS1 DataBar Limited	Interleaved 2 of 5	ISBT 128
	Korean 2 of 5	Matrix 2 of 5	MSI
	TLC39	Trioptic 39	UCC/EAN 128
	UPCA	UPCE	UPCE1
	UPC/EAN Supplementals	Webcode	
2D バーコード	Australian Postal	Aztec	Canadian Postal
	Composite AB	Composite C	Data MAtrix
	Dutch Postal	Japanese Postal	Linked Aztec
	Maxi Code	Micro PDF-417	microQR
	PDF-417	QR Code	US Planet
	UK Postal	US Postnet	USPS 4-state (US4CB)

MC40 アクセサリ仕様

シングル スロット 充電 クレードル

表 A-3 シングル スロット 充電 クレードルの技術仕様

機能	説明
寸法	高さ : 69.4mm (2.73 インチ) 幅 : 102.5mm (4.04 インチ) 奥行き : 88.9mm (3.50 インチ)
重量	274g (9.67oz)
入力電圧	5.4VDC
電力消費 (1 つの MC40 を使用)	6W
動作温度	0°C ~ 40°C
保管温度	-40°C ~ 70°C
充電温度	0°C ~ 40°C

表 A-3 シングル スロット充電クレードルの技術仕様 (続き)

機能	説明
湿度	0 ~ 95% (結露なきこと)
落下	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

5 スロット ユニバーサル充電専用クレードル

表 A-4 5 スロット ユニバーサル充電専用クレードルの技術仕様

機能	説明
寸法 (ベースのみ)	高さ: 40.2mm (1.6 インチ) 幅: 449.6mm (17.7 インチ) 奥行き: 120.3mm (4.7 インチ)
寸法 (充電キャップ付きのベース)	高さ: 90.1mm (3.5 インチ) 幅: 449.6mm (17.7 インチ) 奥行き: 120.3mm (4.7 インチ)
寸法 (ベースと 4 つの充電キャップと 1 つのバッテリー充電キャップ)	高さ: 77.0mm (3.0 インチ) 幅: 449.6mm (17.7 インチ) 奥行き: 120.3mm (4.7 インチ)
重量 (ベースのみ)	0.93kg (20.5 ポンド)
重量 (充電キャップ付きのベース)	1.31kg (2.89 ポンド)
重量 (ベースと 4 つの充電キャップと 1 つのバッテリー充電キャップ)	1.30kg (2.86 ポンド)
入力電圧	12VDC
消費電力 (5 台の MC40 を使用)	37.5W
動作温度	0°C ~ 50°C
保管温度	-40°C ~ 70°C
充電温度	0°C ~ 40°C
湿度	0 ~ 95% (結露なきこと)
落下	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

4 スロット予備バッテリー充電器

表 A-5 4 スロット予備バッテリー充電器の技術仕様

機能	説明
寸法	高さ: 59.9mm (2.36 インチ) 幅: 84.0mm (3.31 インチ) 奥行き: 116.3mm (4.58 インチ)
重量	257g (9.07 インチ)
入力電圧	12VDC
電力使用 (4 つのバッテリーを使用)	25 W
動作温度	0°C ~ 40°C
保管温度	-40°C ~ 70°C
充電温度	0°C ~ 40°C
湿度	0 ~ 95% (結露なきこと)
落下	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

用語集

A

AFH. 適応型周波数ホッピング。

API. (アプリケーション プログラミング インタフェース) あるソフトウェア コンポーネントが他のコンポーネントと通信したり、他のコンポーネントを制御したりする際に使用するインタフェース。通常は、あるソフトウェア コンポーネントによって、ソフトウェアの割り込みや機能の呼び出しによって、他のコンポーネントに提供されるサービスを指します。

B

Bluetooth. 短距離通信技術を活用して狭い範囲でデータ転送を可能にする無線プロトコル。

C

CDRH. Center for Devices and Radiological Health (医療機器・放射線保健センター) の略。レーザー製品の安全性に関する規制を行う連邦政府機関。この機関は、レーザー操作時の電源出力に基づいて各種レーザー操作クラスを規定しています。

CDRH Class 1. 最も低いパワーの CDRH レーザー分類です。このクラスは、すべてのレーザー出力が目の瞳孔に向けられた場合でも本質的に安全であると見なされます。このクラスでは特別な操作手順は規定されていません。

CDRH Class 2. この制限に準拠するために追加のソフトウェアメカニズムを用意する必要はありません。このクラスのレーザーは、人体に意図的に直接照射しない限り、特に危険性はありません。

COM ポート. 通信ポート。ポートは COM1 や COM2 など、数字で識別されます。

E

ESD. Electro-Static Discharge (静電気放電) の略。

F

FHSS (周波数ホッピング方式スペクトラム拡散). 送信側および受信側が知る疑似ランダム系列を使用して複数の周波数チャンネル間でキャリアを頻繁に変更して無線信号を送信する方法。

H

Hz. ヘルツ。1 秒あたり 1 サイクルと同等の周波数の単位です。

I

IEC. International Electrotechnical Commission (国際電気標準会議) の略。この国際機関は、レーザー操作時の電源出力に基づいて各種レーザー操作クラスを規定することによって、レーザーの安全性を規制しています。

IEC (825) Class 1. 最も低いパワーの IEC レーザー分類です。この規格に準拠しているかどうかは、1000 秒の時間枠でレーザー操作が 120 秒間に制限されていることと、スキャナの振動ミラーが故障した場合にレーザーが自動シャットダウンされることによって確認されます。

IEEE アドレス. 「MAC アドレス」を参照してください。

I/O ポート. 2 つのデバイス間を接続するインターフェース。共通の物理特性、信号特性、および信号の意味によって定義されます。インターフェースのタイプとしては、RS-232 と USB があります。

IP. インターネット プロトコル (Internet Protocol) の略。TCP/IP 通信プロトコルの IP 部分。IP はプロトコルのネットワーク層 (第 3 層) を実装しています。ネットワーク層にはネットワーク アドレスが含まれており、ネットワーク層を使用して別のネットワークやサブネットワークにメッセージをルーティングします。IP では、第 4 層の転送プロトコル (TCP または UDP) からの「パケット」を受け取り、独自のヘッダを追加して、第 2 層のデータ リンクプロトコルに「データグラム」を渡します。また、ネットワークの最大転送単位 (MTU) をサポートするため、パケットをいくつかの断片に分解する場合があります。

IP アドレス. (インターネット プロトコル アドレスの略) IP ネットワークに接続されたコンピュータのアドレス。すべてのクライアントおよびサーバー ステーションは、固有の IP アドレスを持っている必要があります。IP ネットワーク上のコンピュータでは、32 ビット アドレスが使用されます。クライアント ワークステーションには、固定アドレスか、セッションごとに動的にワークステーションに割り当てられるアドレスを設定します。IP アドレスは、ピリオドで分割された 4 セットの数字で記述されます。たとえば、204.171.64.2 などとなります。

IPX/SPX. Internet Package Exchange/Sequential Packet Exchange の略。Novell 用の通信プロトコルです。IPX は、XNS や IP に類似した Novell の第 3 層のプロトコルで、NetWare ネットワークで使用されます。SPX は、Xerox SPP プロトコルの Novell 版です。

ISM. Industry Scientific and Medical (産業科学医療用) の略。

L

LED インジケータ. インジケータとして使用される半導体ダイオード (LED は発光ダイオード)。多くはデジタル ディスプレイに使用されます。この半導体は、印加電圧を使用して、ある特定の周波数の光を発生します。周波数は半導体の化学組成によって決定されます。

N

NVM. Non-Volatile Memory (不揮発性メモリ) の略。

P

PAN. Personal Area Network (パーソナル エリア ネットワーク) の略。Bluetooth 無線テクノロジーを使用して、複数のデバイスが無線で通信できるようになります。一般的に無線 PAN は、約 10m の範囲内で通信する 254 台までのデバイスの動的なグループで構成されます。通常は、この限定された領域の中にあるデバイスのみがネットワークに参加できます。

PING. Packet Internet Groper の略。特定の IP アドレスがオンラインであるかどうかを判断するために使用されるインターネット ユーティリティ。パケットを送信して応答を待つことで、ネットワークをテストしたりデバッグしたりするために使用されます。

R

RAM. Random Access Memory (ランダム アクセス メモリ) の略。RAM 内のデータにはランダムな順序でアクセスでき、すばやい読み書きが可能です。

RF. Radio Frequency (無線周波数) の略。

ROM. Read-Only Memory (読み出し専用メモリ) の略。ROM に格納されたデータを変更または削除することはできません。

S

SDK. ソフトウェア開発キット (Software Development Kit)

SID. System Identification code (システム識別コード) の略。業界ごとに FCC が発行する識別子です。携帯デバイスでホーム サービスとローミング サービスを区別できるようにするため、携帯電話キャリアでも SID をブロードキャストします。

T

TCP/IP. Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。異種システム間をネットワーク接続するために使用される通信プロトコルです。この標準はインターネットのプロトコルであり、通信に関するグローバルな標準となっています。TCP は転送機能を提供します。これにより、送信された合計バイト数が相手側で正しく受信されるようになります。UDP は代替的な転送機能で、配信は保証されません。UDP は、異常なパケットが再送されないリアルタイムの音声および映像の転送に使用されます。IP はルーティングメカニズムを備えています。TCP/IP はルーティング可能なプロトコルです。これは、すべてのメッセージに、宛先ステーションのアドレスだけでなく宛先ネットワークのアドレスも含まれていることを意味します。これにより組織内や世界中の複数のネットワークに TCP/IP メッセージを送信できるため、TCP/IP は世界中のインターネットで使用されています。TCP/IP ネットワーク内のすべてのクライアントとサーバーには、固定 IP アドレス、または起動時に動的に割り当てられる IP アドレスが必要です。

Telnet. インターネットや TCP/IP ベースのネットワークで一般的に使用される、ターミナルエミュレーションプロトコル。これにより、ターミナルやコンピュータを使用するユーザーがリモートデバイスにログオンし、プログラムを実行することができます。

TFTP. Trivial File Transfer Protocol (簡易ファイル転送プロトコル) の略。TCP/IP FTP (ファイル転送プロトコル) のバージョンの 1 つで、ディレクトリやパスワードの機能はありません。ファームウェアのアップグレード、ソフトウェアのダウンロード、およびディスクレスデバイスのリモートブートに使用されるプロトコルです。

Transmission Control Protocol/Internet Protocol. 「TCP/IP」を参照してください。

U

UDP. User Datagram Protocol (ユーザーデータグラムプロトコル) の略。IP プロトコルセットに含まれるプロトコルのひとつで、信頼性の高い配信が必要でない場合に、TCP に代わって使用されます。たとえば、再転送する時間がないためにパケットが失われても単純に無視されるようなリアルタイムの音声および映像のトラフィックに対して、UDP が使用されます。UDP を使用して信頼性の高い配信を行う必要がある場合は、パケットシーケンスのチェックとエラー通知をアプリケーション内に記述する必要があります。

UPC. Universal Product Code (ユニバーサルプロダクトコード) の略。比較的複雑な数字の記号体系です。各キャラクターは 2 つのバーと 2 つのスペースで構成され、そのそれぞれが 4 種類の幅のいずれかになります。米国での小売の食品パッケージで標準的に使用される記号体系です。

あ

暗号化. 暗号化は、データを、許可されていないユーザーには簡単に理解できない形式に変換することです。「復号」と「キー」も参照してください。

い

インターネットプロトコルアドレス. 「IP」を参照してください。

え

液晶ディスプレイ (LCD). 2 枚のガラス板の間に封入された液晶を使用したディスプレイ。液晶は電圧を正確にかけることによって励起し、そのバイアスに従って光を外側に反射させます。消費電力が少なく、比較的高速で応答します。液晶の情報をユーザー側に反射するには、外光が必要となります。

お

オープン システム認証. オープン システム認証は、null 認証アルゴリズムです。

か

可視半導体レーザー (VLD). 可視レーザー光を発生する、半導体素子を使用したデバイス。

簡易ファイル転送プロトコル.「TFTP」を参照してください。

き

キー. キーは、データの暗号化や復号を行うためのアルゴリズムによって使用される特定のコードのことです。「暗号化」と「復号」も参照してください。

基板. 実体やイメージが配置される基板の素材。

キャラクタ. バーとスペースで構成されるパターン。データを直接的に表現するか、数字や文字、句読点、メッセージ内の通信制御など、特定の制御機能を示します。

共有キー. 共有キーによる認証は、AP と MU の両方で認証キーを共有するアルゴリズムです。

許容範囲. バーまたはスペースの幅の公称値からの許容される誤差。

く

クレードル. ターミナルのバッテリーの充電やホスト コンピュータとの通信に使用します。使用していないときは、ターミナルの保管場所となります。

こ

公称値. 特定のパラメータの正確な (または理想的な) 目標値。この値からの正と負の誤差として、許容範囲が指定されます。

さ

サブネット. 1つのネットワーク上で、同じルーターのサービスを受ける複数のノードのサブセット。「ルーター」を参照してください。

サブネット マスク. IP アドレスのネットワーク部分とホスト部分を分離するために使用される 32 ビットの数字。カスタム サブネット マスクは、IP ネットワークをさらに小さなサブセクションに分割します。マスクはバイナリパターンであり、IP アドレスと組み合わせることで、ホスト ID アドレス フィールドの一部をサブネットのフィールドに置き換えます。多くの場合、デフォルトは 255.255.255.0 です。

し

シンボル. 特定の記号体系の規則に従ってデータをエンコードする、スキャン可能な単位。通常はスタート/ストップ キャラクタ、クワイエット ゾーン、データ キャラクタおよびチェック キャラクタを含みます。

シンボル アスペクト比率. シンボルの幅に対する高さの比率。

シンボルの高さ. 最初の行と最後の行の、クワイエット ゾーンの外側の端の間の距離。

シンボルの長さ. スタート キャラクタに隣接するクワイエット ゾーン (マージン) の最初から、ストップ キャラクタに隣接するクワイエット ゾーン (マージン) の最後までを計測した、シンボルの長さ。

す

スキャナ. バーコードをスキャンし、シンボルのバーとスペースに対応するデジタル化されたパターンを作成するための電子デバイス。主なコンポーネントは次の 3 つです。1) 光源 (レーザーまたは光電セル) - バーコードに光を照射する 2) 光検出器 - 反射光の差異を登録する (スペースからより多くの光が反射される) 3) 信号処理回路 - 光検出器の出力をデジタル化されたバーのパターンに変換する。

スタート/ストップ キャラクタ. スキャナに読み取りの開始と終了の指示やスキャン方向を提示するバーとスペースのパターン。通常、スタートキャラクタとストップキャラクタは水平コードの左右のマージンに隣接しています。

スペース. バーコードで、バーの間の背景によって形成される明るいエレメント。

せ

正反射. 平面から鏡のように直接反射される光。これによってバーコードのデコードが困難になる場合があります。

て

デコード. バーコードの記号体系 (UPC/EAN など) を識別し、スキャンしたバーコードの内容を分析すること。

デコードアルゴリズム. パルス幅を、バーコード内でエンコードされた文字や数字のデータ表示に変換する読み取りスキーム。

に

入出力ポート. I/O ポートは主に、ターミナルのメモリで情報を入力または出力するためのみに使用されます。MC40 には USB ポートが搭載されています。

は

バーコード. さまざまな幅のバーとスペースのパターン。数字や英数字のデータを機械が読み取れる形式で表します。一般的なバーコードの形式は、先頭マージン、スタートキャラクタ、データキャラクタ (またはメッセージキャラクタ)、チェックキャラクタ (あれば)、ストップキャラクタ、および末尾マージンで構成されます。この枠組みの中で、認識可能な記号体系それぞれが独自の形式を使用します。「**記号体系**」を参照してください。

バイト. アドレス指定可能な境界上で、特定の文字や数値を表すパターン内で組み合わせられた、隣接した 8 桁の 2 進数 (0 と 1)。ビットには右から 0 ~ 7 の番号が付いており、ビット 0 が下位のビットです。メモリ内では、1 バイトを使用して 1 つの ASCII 文字を格納します。

発光ダイオード. 「LED」を参照してください。

ひ

ビット. 1 桁の 2 進数。1 ビットが、バイナリ情報の基本単位です。一般的には、連続した 8 ビットが 1 バイトのデータを構成します。バイト内の 0 と 1 の値のパターンによって、そのバイトの意味が決定されます。

ビット/秒 (bps). 送信または受信されるビット数。

ふ

ファイル転送プロトコル (FTP). ネットワークや電話回線を介したファイル転送を支配する TCP/IP アプリケーションプロトコル。「**TCP/IP**」を参照してください。

ブートまたはブートアップ. コンピュータが起動時に実行するプロセス。ブートアップ中、コンピュータは自己診断テストを実行したり、ハードウェアやソフトウェアを設定したりすることができます。

復号. 受信した暗号データをデコードおよびスクランブル解除すること。「**暗号化**」と「**キー**」も参照してください。

フラッシュメモリ. 半永久的な不揮発性のストレージ。回線内で電氣的に消去したり、プログラミングしなおしたりすることが可能です。

ほ

ホストコンピュータ. ネットワーク内の他のターミナルに、演算やデータベース アクセス、監視プログラム、ネットワーク制御などのサービスを提供するコンピュータ。

よ

読み取り可能コード. 特定のバーコード タイプ (UPC/EAN、Code 39、PDF417 など) のデータを表すための構造的なルールと規約。

読み取り幅. スキャナがある一定の最小光源幅でシンボルを読み取れる最短距離と最長距離の間の範囲。

る

ルーター. ネットワークに接続して、パケットのフィルタリングに必要なプロトコルをサポートするデバイス。一般的には、配線の範囲を広げたり、ネットワークのトポロジをサブネットにまとめたりするために使用されます。「サブネット」を参照してください。

れ

レーザー (LASER). Light Amplification by Stimulated Emission of Radiation の略。強い光源です。白熱灯バルブから出力される光と異なり、レーザーからの光はすべて同じ周波数です。レーザー光は一般的にコヒーレントであり、高いエネルギー密度を持っています。

レーザー スキャナ. レーザー光のビームを使用するタイプのバーコード リーダー。

索引

数字

2-D バーコード	3-1
4 スロット予備バッテリー充電器	7-1, 7-6
接続	7-6
5 スロットユニバーサル充電専用クレードル	7-5

A

AC 電源コード	7-2
AFH	5-1

B

Bluetooth	5-1
オフ	5-4
オン	5-3
セキュリティ	5-2
適応型周波数ホッピング	5-1
デバイスの検出	5-4
デバイスへの接続	5-5
名前の変更	5-5
ペアリング解除	5-6
無効	5-4
有効	5-3
Bluetooth デバイスへの接続	5-5
Bluetooth の無効化	5-4
Bluetooth の有効化	5-3

D

DataWedge	3-1, 3-6
-----------	----------

L

LED	
スキャンと読み取り	3-3, 3-4, 3-5
バッテリー充電	1-2

M

MC40 の開始	1-4, 1-6
MC40 のリセット	2-18

P

PIN	2-16
-----	------

U

USB コネクタ	1-3
USB/充電ケーブル	7-1

W

WLAN	xi
WLAN 802.11a/b/g/n	xi
WLAN ネットワークのスキャン	4-1
WLAN ネットワークへの接続	4-2
WPAN	xi
WPAN Bluetooth	xi
WVGA	xi

あ

アクセサリ	
4 スロット予備バッテリー充電器	7-1, 7-6
USB/充電ケーブル	7-1
ケーブル	7-3
仕様	A-4

シングル スロット充電クレードル	7-1
予備バッテリー	7-2
アプリケーション	2-13

い

イメージャー ... データ収集/イメージングを参照 イメージング	3-1
--	-----

う

ウィジェット	2-6
--------------	-----

お

オプションメニュー	2-9
温度	A-2
充電	1-6

か

壁紙	2-7
カメラxi
背面	1-3
画面回転の設定	1-10
画面輝度の設定	1-10
画面タイムアウト設定	1-9, 1-11
画面のロック解除	2-15
画面ロック解除	2-15

き

技術仕様	A-1
アクセサリ	A-4
規則	
表記xii
輝度	1-9
輝度設定	1-9
機内モード	1-3, 5-3
キーボード	2-10

く

クリーニング	8-1
クレードル	
4 スロット予備バッテリー充電器	7-6

こ

構成xi
コンテキストメニュー	2-9

さ

サービスに関する情報	xiii
サイレントモード	1-3
サウンド	1-11
サウンド設定	
設定	1-11
サスペンド	5-3

し

充電	
シングル スロット充電クレードルの使用	7-4
予備バッテリー	1-6
充電温度	1-6
ショートカット	2-6
シングル スロット充電クレードル	
充電	7-4
シングル スロット充電ドッキングクレードル	7-1
シングル ユーザー ログイン	2-16

す

数字および記号	2-10
スキャン	
イメージング	3-1
ステータス アイコン	2-3
ステータス バー	2-2, 2-3
スピーカ	1-3

せ

セキュリティ	
Bluetooth	5-2
設定	1-9
画面回転	1-10
画面輝度	1-10
画面タイムアウト	1-9, 1-11
輝度	1-9

そ

操作システム	xi
ソフトウェア バージョンxii
ソフトリセット	2-18

た

タッチスクリーン	1-2
タッチスクリーン	2-8

つ

通知	
管理	2-5
通知アイコン	2-4
通知設定	1-11

て

ディスプレイ	xi
低バッテリー通知	1-8
適応型周波数ホッピング	5-1
データ収集	xi, 3-1
2D バーコード	3-1
イメージャー動作モード	
ピック リスト モード	3-2
読み取りモード	3-1
イメージング	3-1
スキャン角度	3-2
スキャン距離	3-2
電源アダプタ	7-1
電源オフ	1-3
電源ボタン	1-3

と

動作環境	A-1
トラブルシューティング	8-5
取り外し	
バッテリー	1-6

な

中黒	xiii
----	------

に

日時の設定	1-10
-------	------

は

背面カメラ	1-3
バーコード	
2D	3-1
パスワード	2-16
パッケージの開梱	1-3
バッテリー	
充電	1-5, 7-4
状態の確認	1-7
取り付け	1-4
取り外し	1-6
バッテリー交換	1-3
バッテリー充電 LED	1-2
バッテリー充電器	

4 スロット	7-6
バッテリー使用量	1-8
バッテリーの充電	1-5
シングル スロット充電クレードルの使用	7-4
バッテリーの取り付け	1-4
ハードリセット	2-19

ひ

光センサ	1-2
表記規則	xii

ふ

ファイル ブラウザ	2-20
フィードバック設定	1-11
フォルダ	2-7

へ

ペアリング解除	5-6
ヘッドセット ジャック	1-3

ほ

ホーム画面	2-1
-------	-----

ま

マイク	1-2
マルチ ユーザー ログイン	2-17

め

メイン バッテリー	
充電	1-4, 1-5
取り付け	1-4
メニュー	2-9
オプション	2-9
コンテキスト	2-9
メモリ	xi
メンテナンス	8-1

よ

予備バッテリー	
2600mAh	7-2
充電	1-6
読み取り LED	1-2

ら

ラジオxi

り

リセット 1-3

リチウム イオン バッテリー 1-3



Motorola Solutions, Inc.
1301 E.Algonquin Rd.
Schaumburg, IL 60196-1078, U.S.A.
<http://www.motorolasolutions.com>

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS、Stylized M のロゴマークは、Motorola Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、ライセンスの下に使用されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。
© 2012 Motorola Solutions, Inc. All Rights Reserved.

